

大山町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
調査結果報告書

令和5年3月

大山町

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の実施について	1
(3) 有効回答件数及び回答率	1
(4) 留意点	1
2. 回答者の属性	2
3. ご家族や生活状況について	3
(1) 家族構成	3
(2) 暮らし・住まいの状況	4
① 介護・介助の必要性	4
③ 経済状況	5
4. からだを動かすことについて	6
(1) 運動・転倒の状況	6
◆運動器の機能低下リスク	8
◆転倒リスク	9
(2) 外出の状況	10
① 外出の頻度	10
◆閉じこもりのリスク	10
5. 食べることについて	12
(1) 口腔	12
① 口内の健康状態	12
(2) 栄養	14
① 体重の状況	14
◆栄養改善のリスク	14
② 孤食の状況	15
6. 毎日の生活について	16
(1) 物忘れ	16
◆認知機能の低下リスク	16
(2) IADL の状況	18
◆手段的自立度 (IADL)	19

7. 地域での活動について	21
(1) 地域活動への参加の状況	21
(2) 地域活動づくりへの参加意向	26
8. たすけあいについて	28
(1) 周囲との相互の関係	28
◆たすけあいについて	32
9. 健康について	34
(1) 主観的健康感	34
(2) 主観的幸福感	35
(3) こころの健康状態	36
◆うつリスク	37
(2) 喫煙	38
(3) 病気の状況	39
10. 認知症にかかる相談窓口の把握について	41
(1) 認知症の症状の有無	41
(2) 認知症の相談窓口の周知状況	42

1. 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、令和6年度から令和8年度までの「大山町高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」を策定するにあたり、今後の高齢者福祉サービスや健康づくりの方策を検討するために、日頃の生活や介護の状況、サービスの利用意向などの実態を把握することを目的として実施した。

(2) 調査の実施について

対象者	令和4年11月30日現在、大山町にお住まいの65歳以上の方 (要介護1～5の方を除く)
実施期間	令和4年12月5日(月)～令和4年12月28日(水)
実施方法	郵送配布、郵送回収

(3) 有効回答件数及び回答率

配布数	回収数	有効回答数	有効回答率
5,225件	3,459件	3,457件	66.2%

(4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
3. 複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer = いくつでも)、3LA (3 Limited Answer = 3つまで) と記載している。また、不明(無回答)はグラフ・表から除いている場合がある。
4. 各種リスクの非該当には判定不能も含む。
5. 表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

2. 回答者の属性

		全体	認定該当状況			
			一般 高齢者	要支援 1	要支援 2	
全体		3,457 人 100.0%	3,280 人 94.9%	90 人 2.6%	87 人 2.5%	
性別	男性	1,559 人 100.0%	1,514 人 97.1%	20 人 1.3%	25 人 1.6%	
	女性	1,898 人 100.0%	1,766 人 93.0%	70 人 3.7%	62 人 3.3%	
年齢	65-69 歳	718 人 100.0%	711 人 99.0%	2 人 0.3%	5 人 0.7%	
	70-74 歳	969 人 100.0%	951 人 98.1%	10 人 1.0%	8 人 0.8%	
	75-79 歳	743 人 100.0%	717 人 96.5%	13 人 1.7%	13 人 1.7%	
	80-84 歳	530 人 100.0%	496 人 93.6%	19 人 3.6%	15 人 2.8%	
	85 歳以上	497 人 100.0%	405 人 81.5%	46 人 9.3%	46 人 9.3%	
性・年齢	男性	前期高齢者	778 人 100.0%	772 人 99.2%	2 人 0.3%	4 人 0.5%
		後期高齢者	781 人 100.0%	742 人 95.0%	18 人 2.3%	21 人 2.7%
	女性	前期高齢者	909 人 100.0%	890 人 97.9%	10 人 1.1%	9 人 1.0%
		後期高齢者	989 人 100.0%	876 人 88.6%	60 人 6.1%	53 人 5.4%

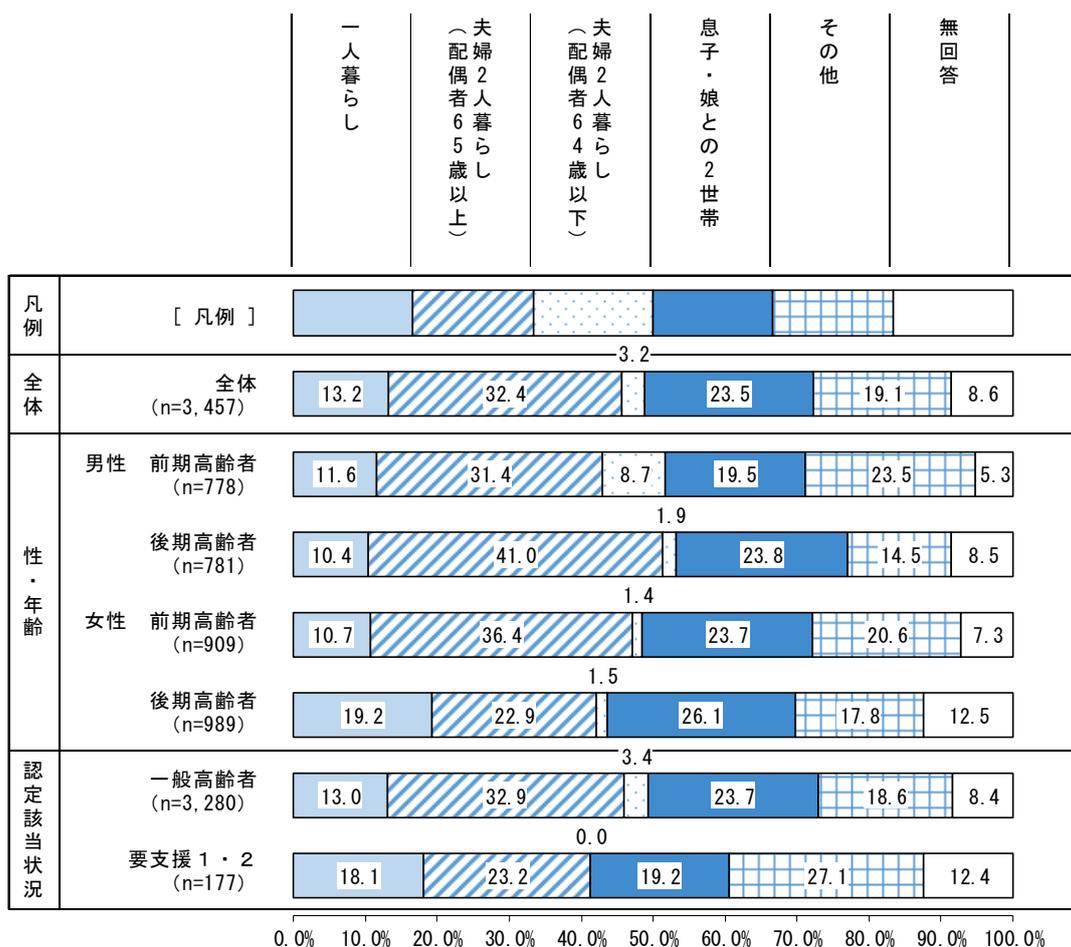
3. ご家族や生活状況について

(1) 家族構成

●問1.1 家族構成をお教えてください。(1つだけ○)

【全体】
○ 家族構成について、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が32.4%で最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が23.5%、「一人暮らし」が13.2%となっています。
【性・年齢】
○ 「一人暮らし」は女性 後期高齢者が19.2%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」は男性 後期高齢者が41.0%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】
○ 「一人暮らし」は要支援1・2が18.1%と一般高齢者の13.0%に比べて多くなっています。
○ 「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」は一般高齢者が32.9%と要支援1・2の23.2%に比べて多くなっています。

【家族構成】



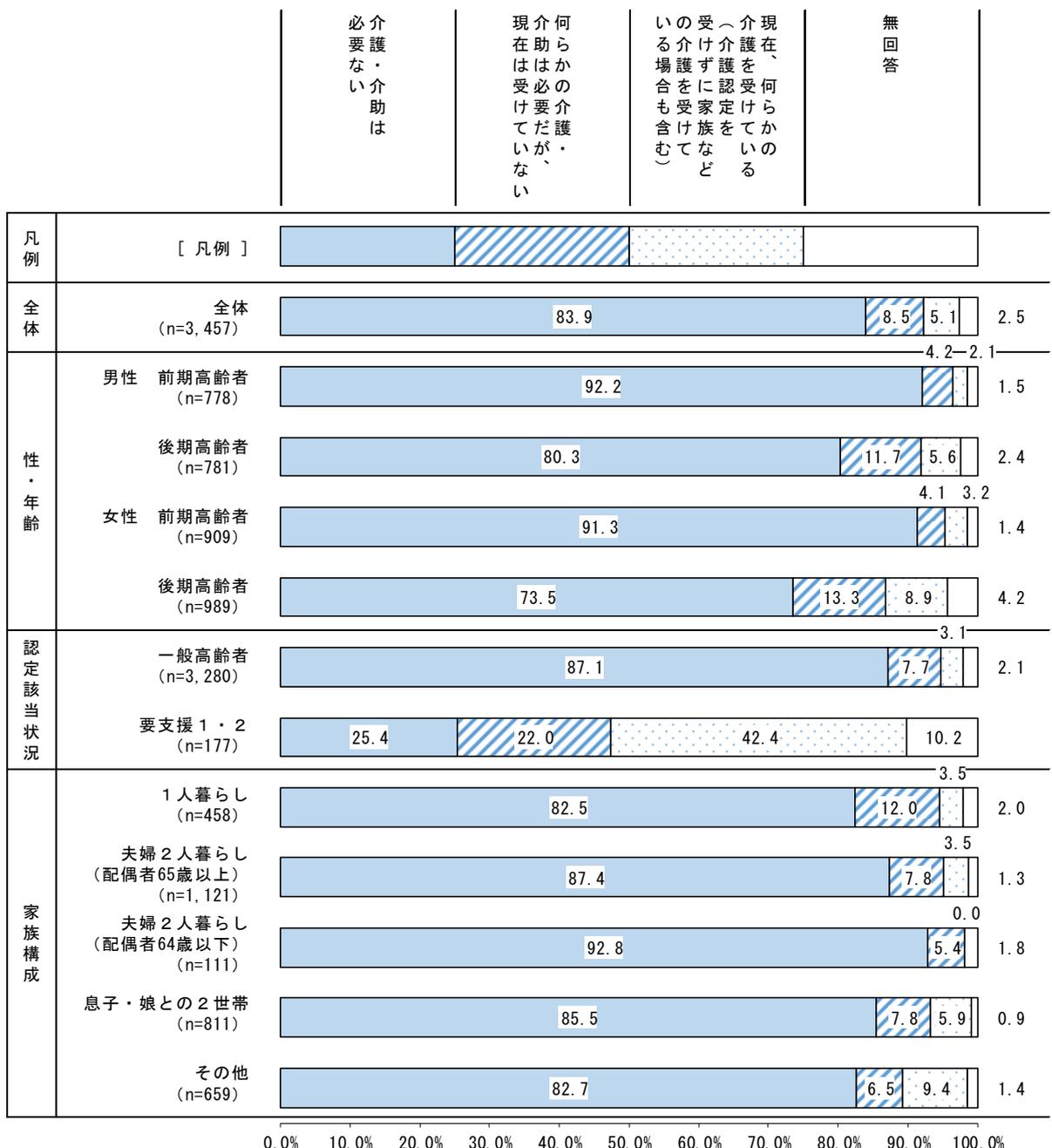
(2) 暮らし・住まいの状況

① 介護・介助の必要性

●問1.2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つだけ○)

【全体】
○ 介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が 83.9%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 8.5%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が 5.1%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「介護・介助は必要ない」が多くなっています。
【認定該当状況】
○ 「介護・介助は必要ない」は一般高齢者が87.1%と要支援1・2の25.4%に比べて多くなっています。

【介護・介助の必要性】



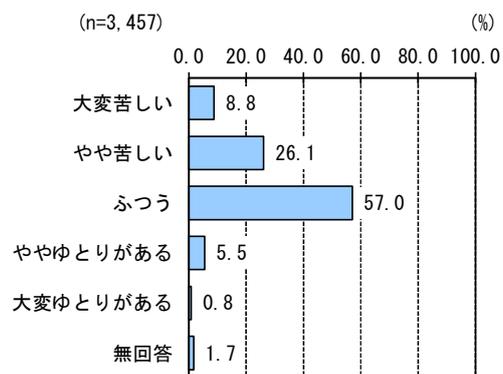
③ 経済状況

●問1.3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ○)

【全体】

- 経済状況について、「ふつう」が57.0%で最も多く、次いで「やや苦しい」が26.1%、「大変苦しい」が8.8%となっています。「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい方”は34.9%となっています。

【経済状況】



4. からだを動かすことについて

(1) 運動・転倒の状況

- 問2.1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つだけ○)

【全体】

- 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについて、「できるし、している」が 54.2%で最も多く、次いで「できない」が 22.2%、「できるけどしていない」が 21.3%となっています。

- 問2.2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つだけ○)

【全体】

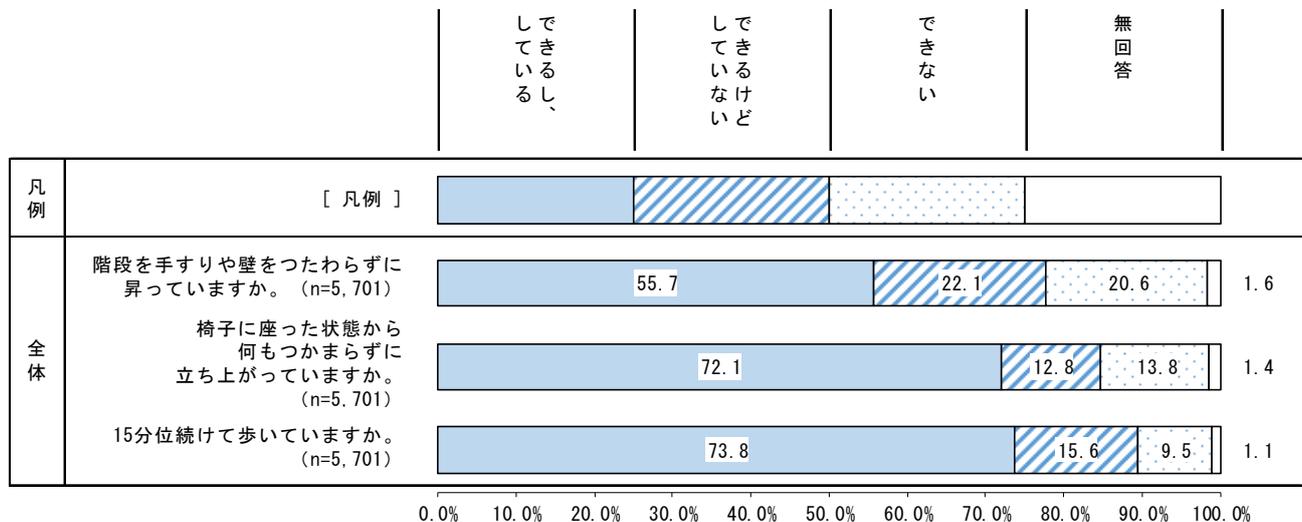
- 椅子に座った状態からの立ち上がりについて、「できるし、している」が 68.5%で最も多く、次いで「できない」が 15.9%、「できるけどしていない」が 13.9%となっています。

- 問2.3 15分位続けて歩いていますか。(1つだけ○)

【全体】

- 15分位続けての歩行について、「できるし、している」が 61.9%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 24.2%、「できない」が 12.4%となっています。

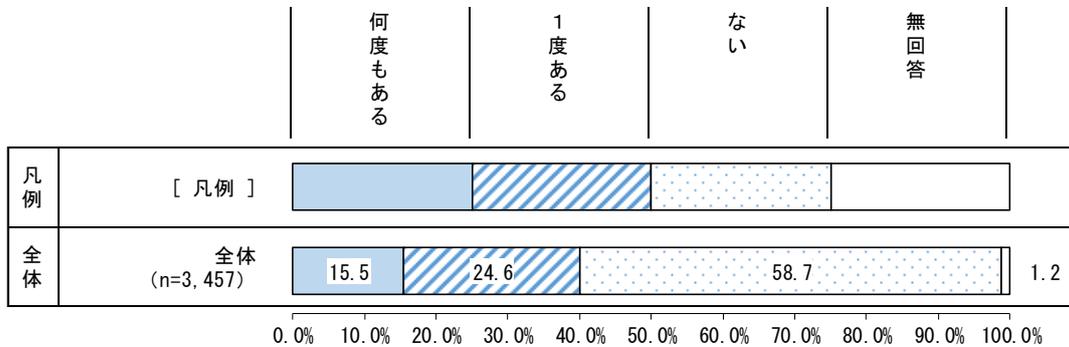
【運動・転倒の状況】



●問2.4 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つだけ○)

【全体】
 ○ 転倒経験について、「ない」が58.7%で最も多く、次いで「1度ある」が24.6%、「何度もある」が15.5%となっています。

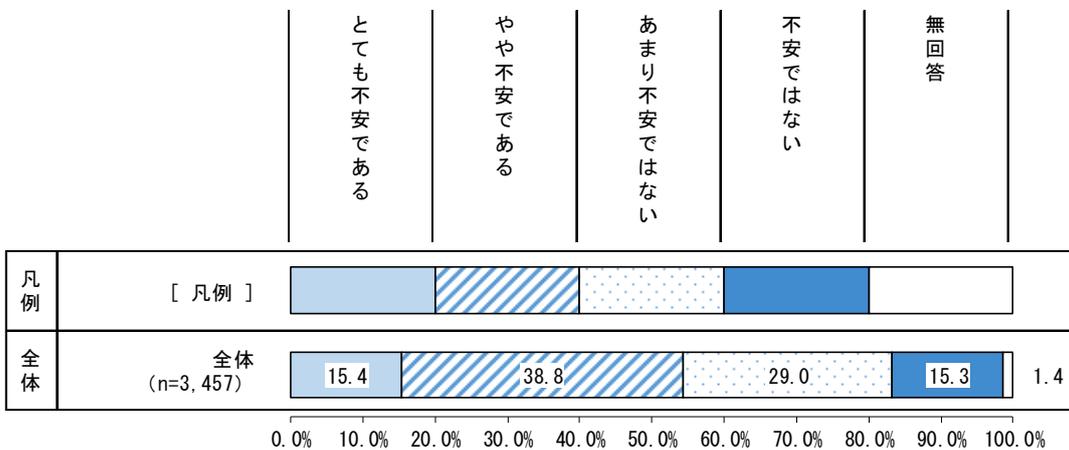
【転倒経験】



●問2.5 転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけ○)

【全体】
 ○ 転倒に対する不安について、「やや不安である」が38.8%で最も多く、次いで「あまり不安ではない」が29.0%、「とても不安である」が15.4%となっています。「とても不安である」「やや不安である」を合わせた“不安な方”は54.2%となっています。

【転倒に対する不安】



◆運動器の機能低下リスク

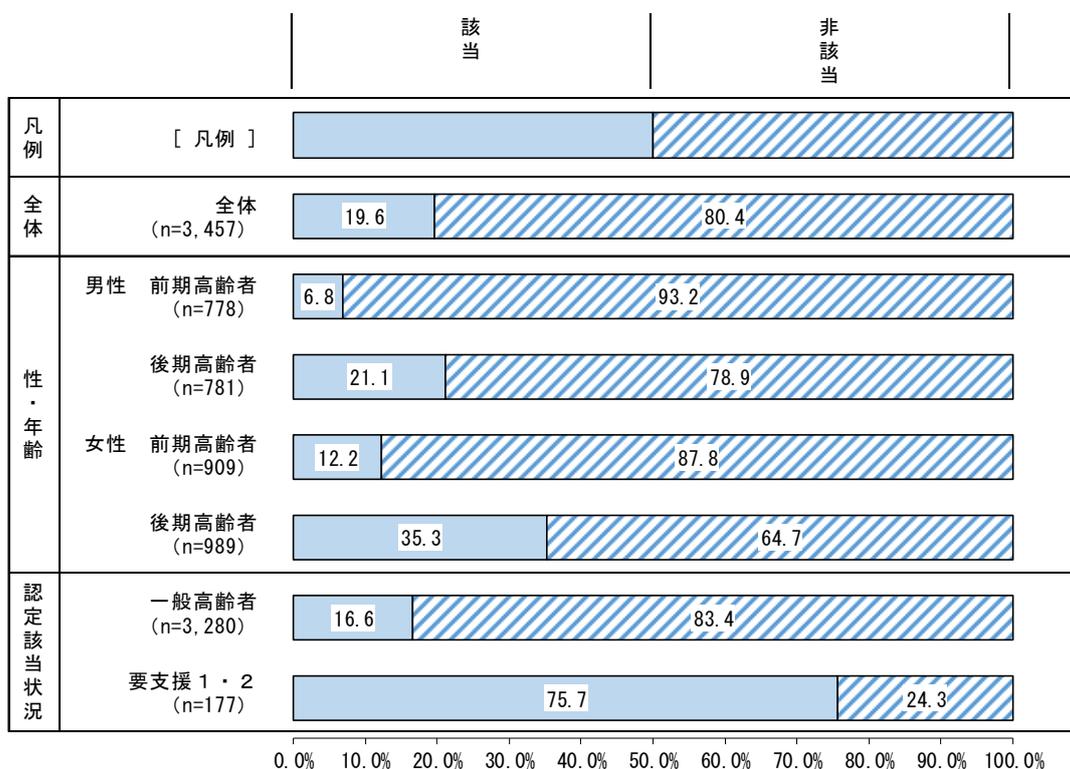
●運動器の機能低下リスクの判定方法

以下の設問に対して5問中3問以上該当する場合は、運動器機能の低下している高齢者となります。

設問	選択肢
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	できない
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	できない
15分位続けて歩いていますか	できない
過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある／1度ある
転倒に対する不安は大きいですか	とても不安である／やや不安である

<p>【全体】</p> <p>○ 運動器の機能低下リスクについて、「該当」が19.6%、「非該当」が80.4%となっています。</p> <p>【性・年齢】</p> <p>○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。</p> <p>○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「該当」が多くなっています。</p> <p>【認定該当状況】</p> <p>○ 「該当」は要支援1・2が75.7%と一般高齢者の16.6%に比べて多くなっています。</p>
--

【運動器の機能低下リスク】



◆転倒リスク

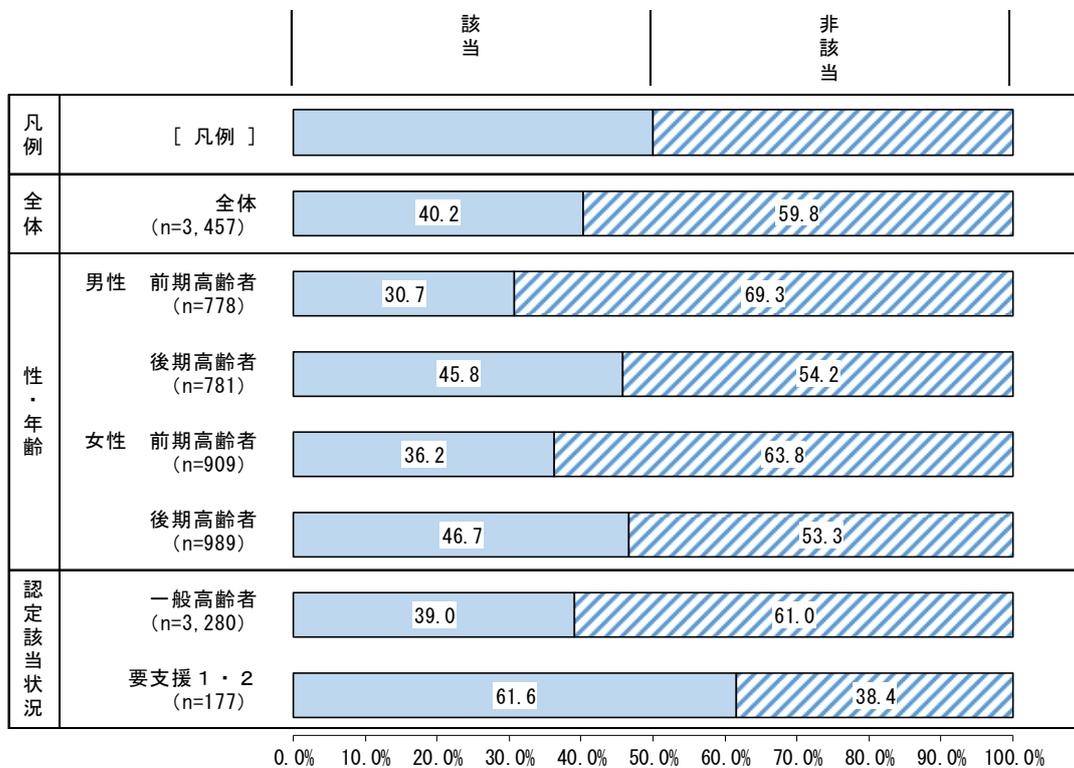
●転倒リスクの判定

以下の設問に対して該当する場合は、転倒リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある／1度ある

<p>【全体】 ○ 転倒リスクについて、「該当」が40.2%、「非該当」が59.8%となっています。</p> <p>【性・年齢】 ○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。</p> <p>【認定該当状況】 ○ 「該当」は要支援1・2が61.6%と一般高齢者の39.0%に比べて多くなっています。</p>
--

【転倒リスク】



(2) 外出の状況

① 外出の頻度

◆閉じこもりのリスク

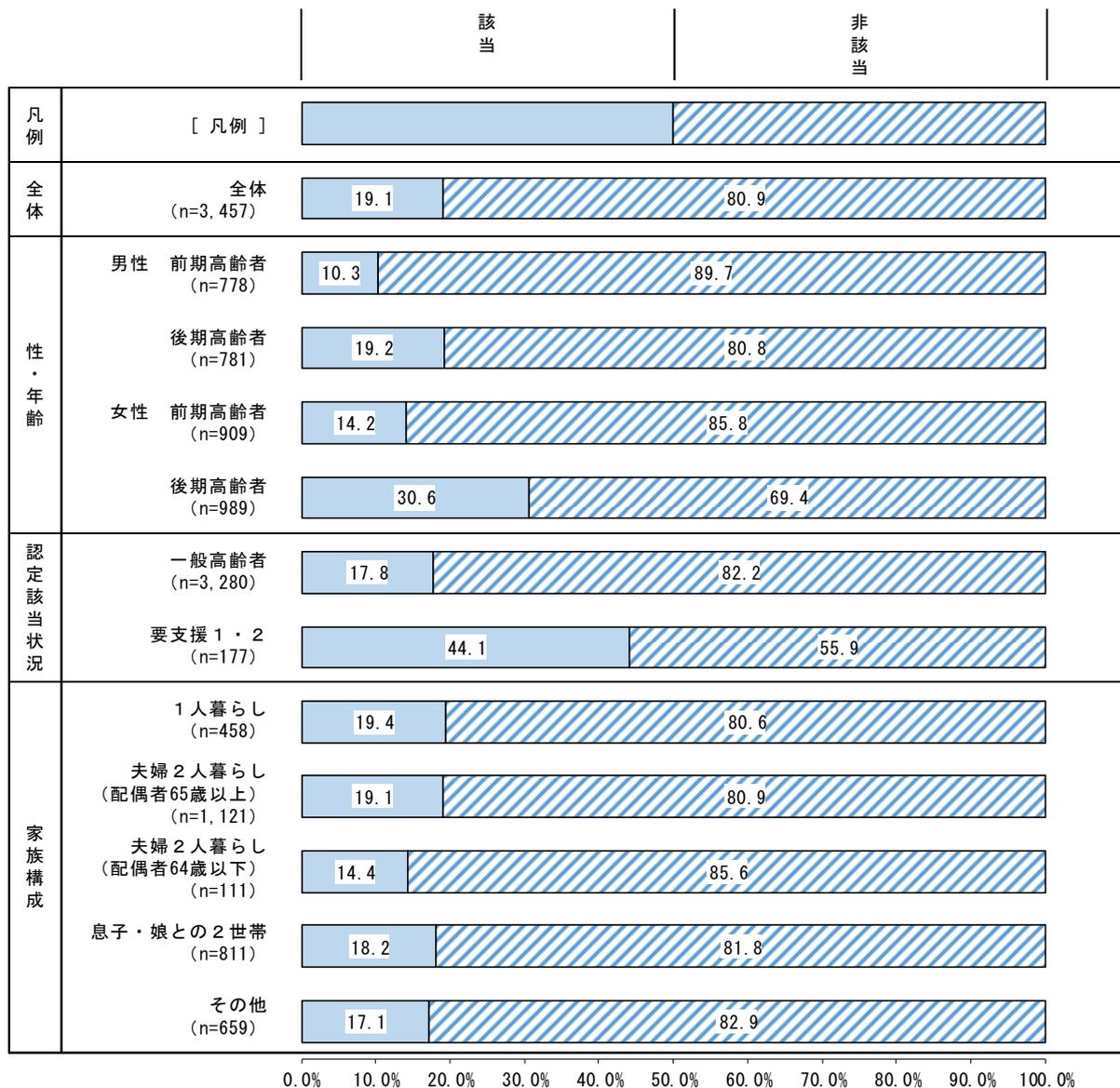
●閉じこもりのリスクの判定

以下の設問に対して該当する場合は、閉じこもり傾向のある高齢者となります。

設問	選択肢
週に1回以上は外出していますか	ほとんど外出しない/週1回

<p>【全体】</p> <p>○ 閉じこもりのリスクについて、「該当」が19.1%、「非該当」が80.9%となっています。</p> <p>【性・年齢】</p> <p>○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。</p> <p>【認定該当状況】</p> <p>○ 「該当」は要支援1・2が44.1%と一般高齢者の17.8%に比べて多くなっています。</p> <p>【家族構成】</p> <p>○ 「非該当」は夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）が85.6%と他の区分に比べて多くなっています。</p>

【閉じこもりのリスク】



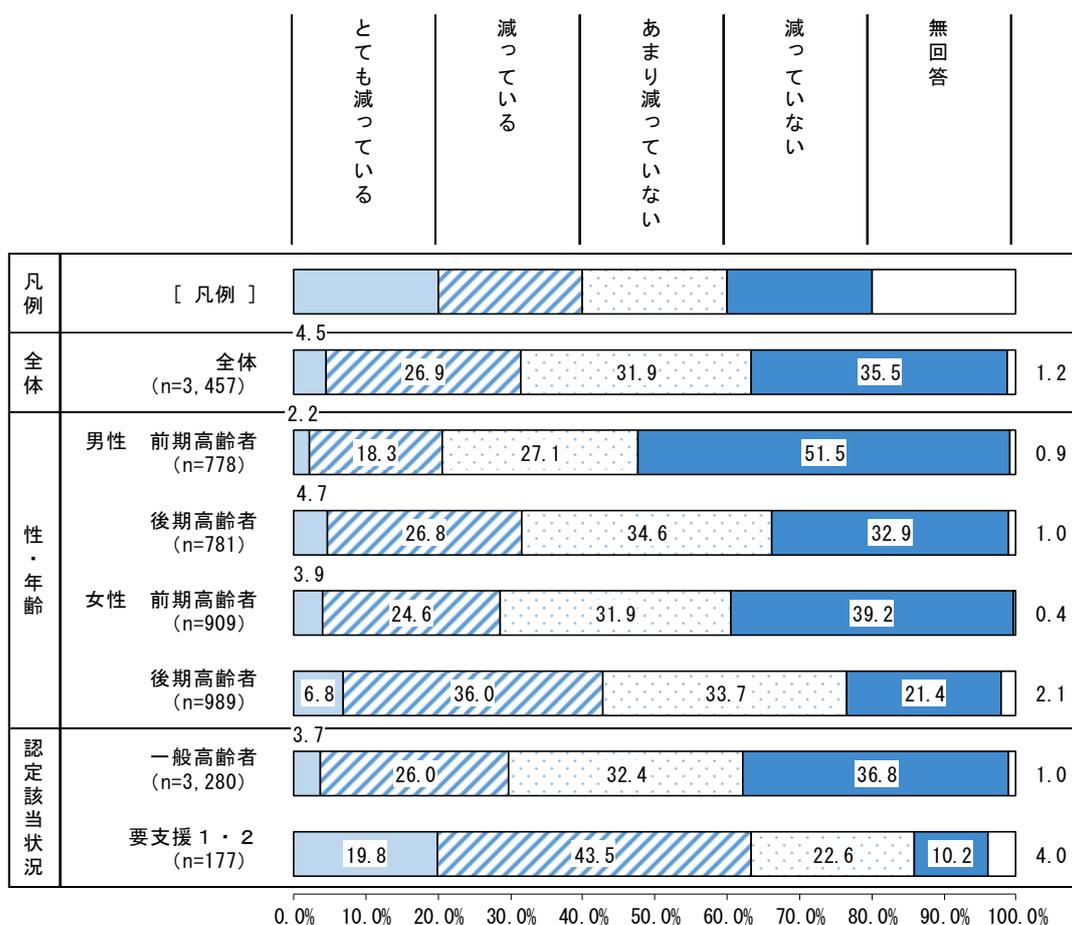
●問2.7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけ○)

【全体】
 ○ 昨年と比べて外出の回数について、「減っていない」が35.5%で最も多く、次いで「あまり減っていない」が31.9%、「減っている」が26.9%となっています。「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている方”は31.4%となっています。

【性・年齢】
 ○ 「減っている」は女性 後期高齢者が36.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】
 ○ 「減っている」は要支援1・2が43.5%と一般高齢者の26.0%に比べて多くなっています。

【昨年と比べて外出の回数】



5. 食べることについて

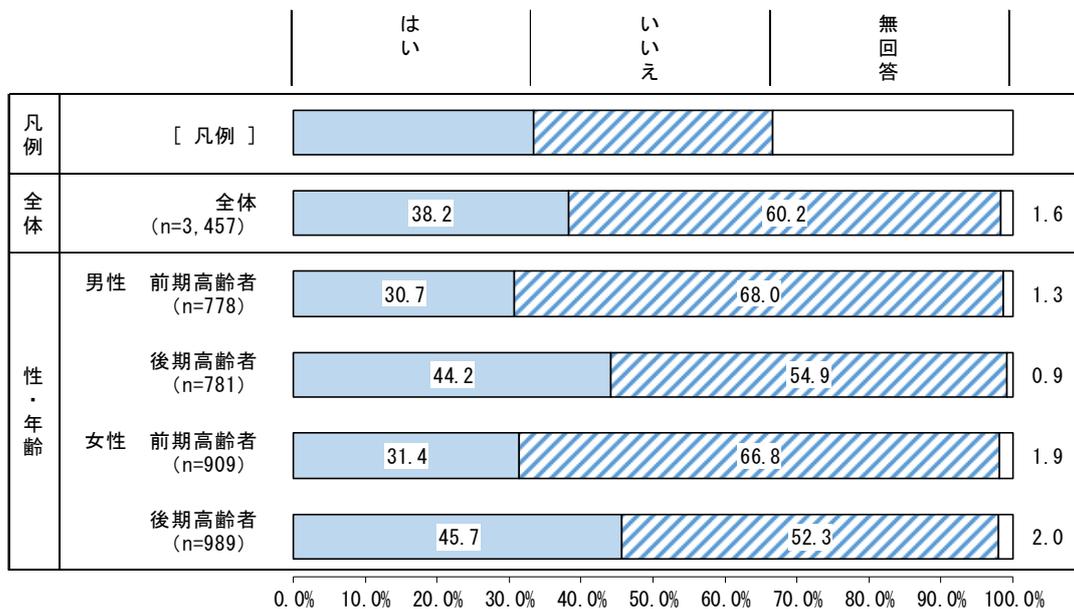
(1) 口腔

① 口内の健康状態

●問3.2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つだけ○)

【全体】
○ 半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が38.2%、「いいえ」が60.2%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。

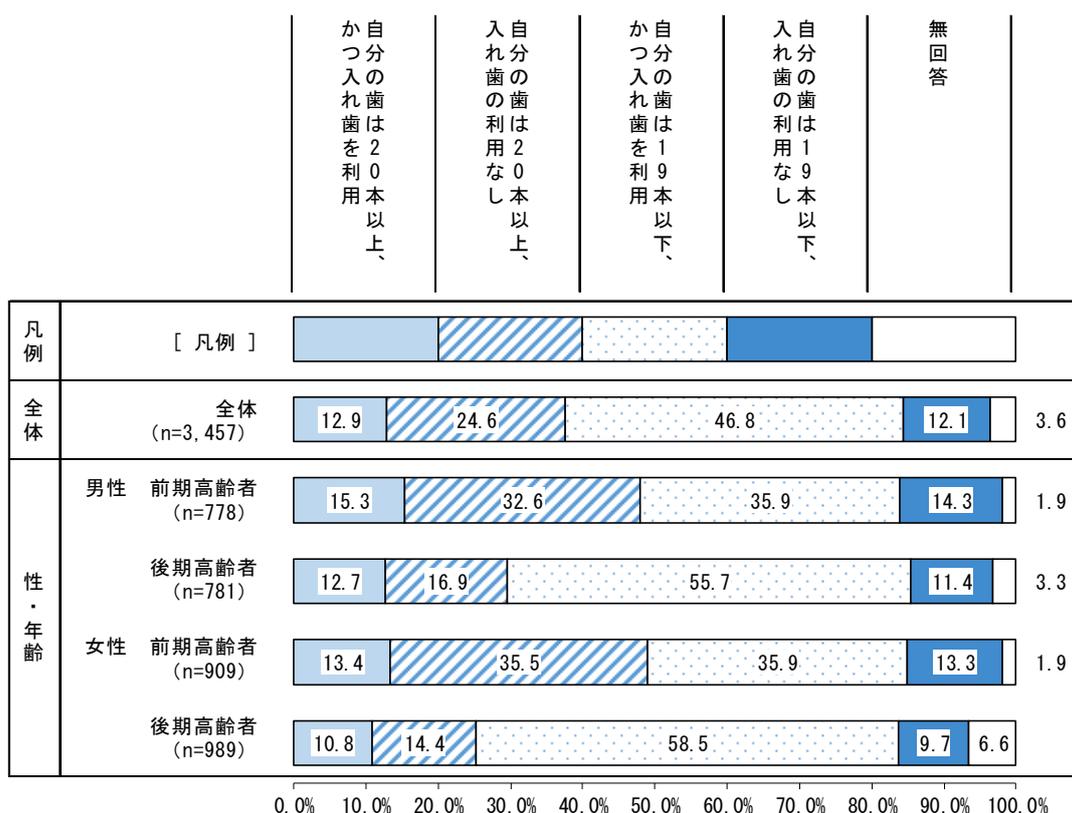
【半年前に比べて固いものが食べにくくなったか】



●問3.3 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

- 【全体】**
- 歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 46.8%で最も多く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 24.6%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 12.9%となっています。
- 【性・年齢】**
- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」、後期高齢者では前期高齢者に比べて「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が多くなっています。

【歯の数と入れ歯の利用状況】



(2) 栄養

① 体重の状況

◆ 栄養改善のリスク

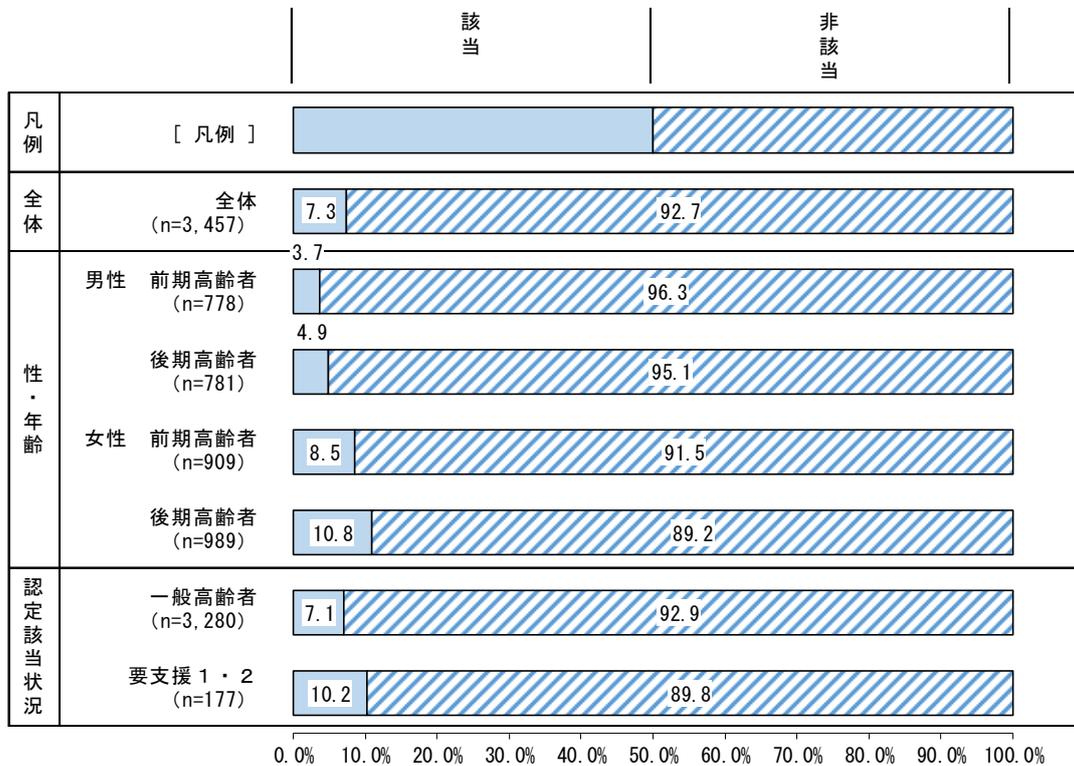
● 栄養改善のリスクの判定

以下の設問に対して該当する場合は、栄養改善リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
身長・体重から算出されるBMI（体重（kg）÷身長（m） ² ）	18.5未満

<p>【全体】</p> <p>○ 栄養改善のリスクについて、「該当」が7.3%、「非該当」が92.7%となっています。</p> <p>【性・年齢】</p> <p>○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「該当」が多くなっています。</p> <p>【認定該当状況】</p> <p>○ 「該当」は一般高齢者が7.1%、要支援1・2が10.2%となっています。</p>

【栄養改善のリスク】

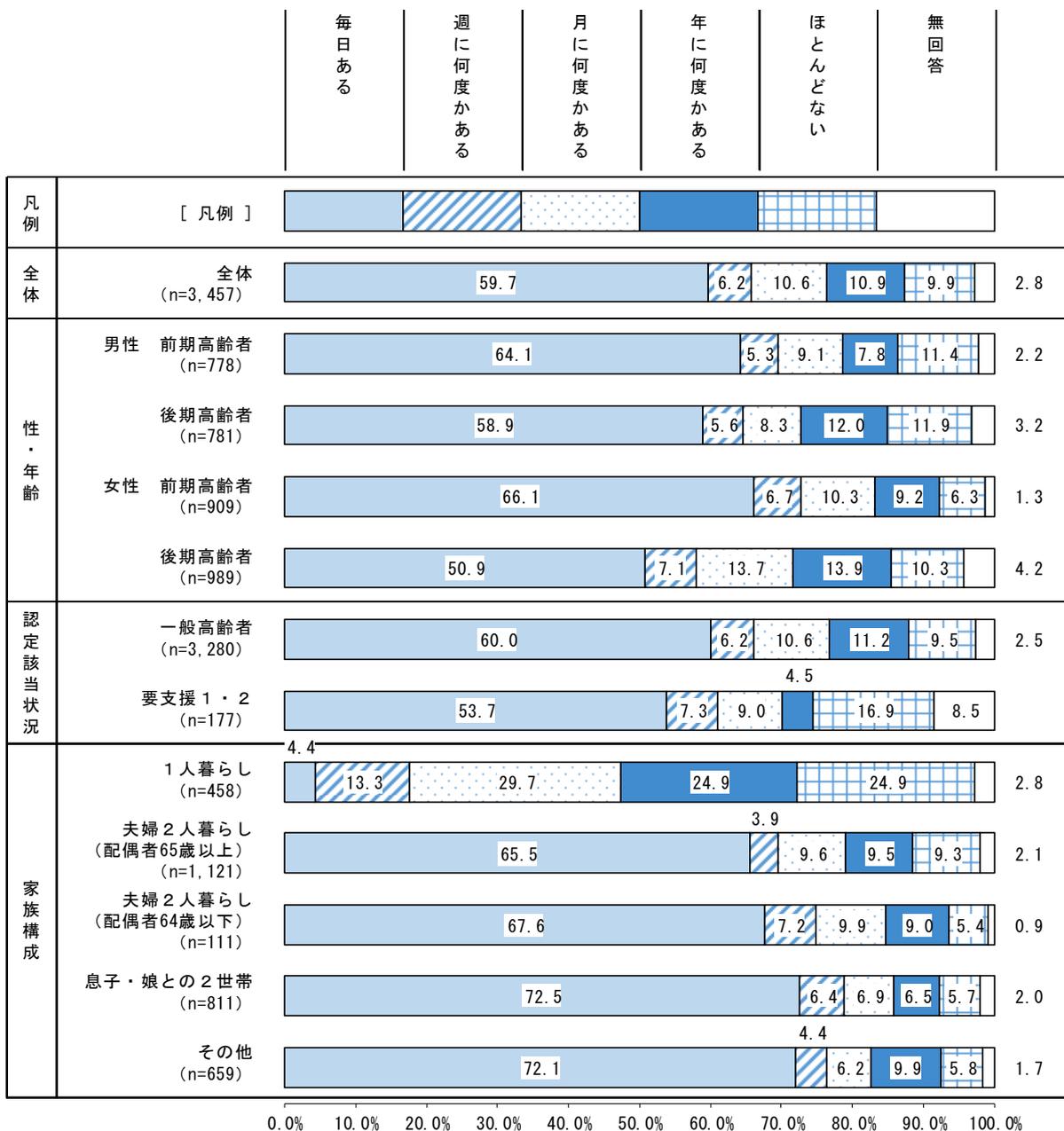


② 孤食の状況

●問3.4 どなたかと食事をとる機会がありますか。(1つだけ○)

【全体】
○ 共食の有無について、「毎日ある」が 59.7%で最も多く、次いで「年に何度かある」が 10.9%、「月に何度かある」が 10.6%となっています。「年に何度かある」「ほとんどない」を合わせた“孤食傾向の方”は 20.8%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「毎日ある」が多くなっています。
【認定該当状況】
○ 「ほとんどない」は要支援1・2が 16.9%と一般高齢者の 9.5%に比べて多くなっています。
【家族構成】
○ 「ほとんどない」は1人暮らしが 24.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【共食の有無】



6. 毎日の生活について

(1) 物忘れ

◆ 認知機能の低下リスク

● 認知機能の低下リスクの判定

以下の設問に対して該当する場合は、認知機能の低下がみられる高齢者となります。

設問	選択肢
物忘れが多いと感じますか	はい

【全体】

- 認知機能の低下リスクについて、「該当」が 47.1%、「非該当」が 52.9%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。

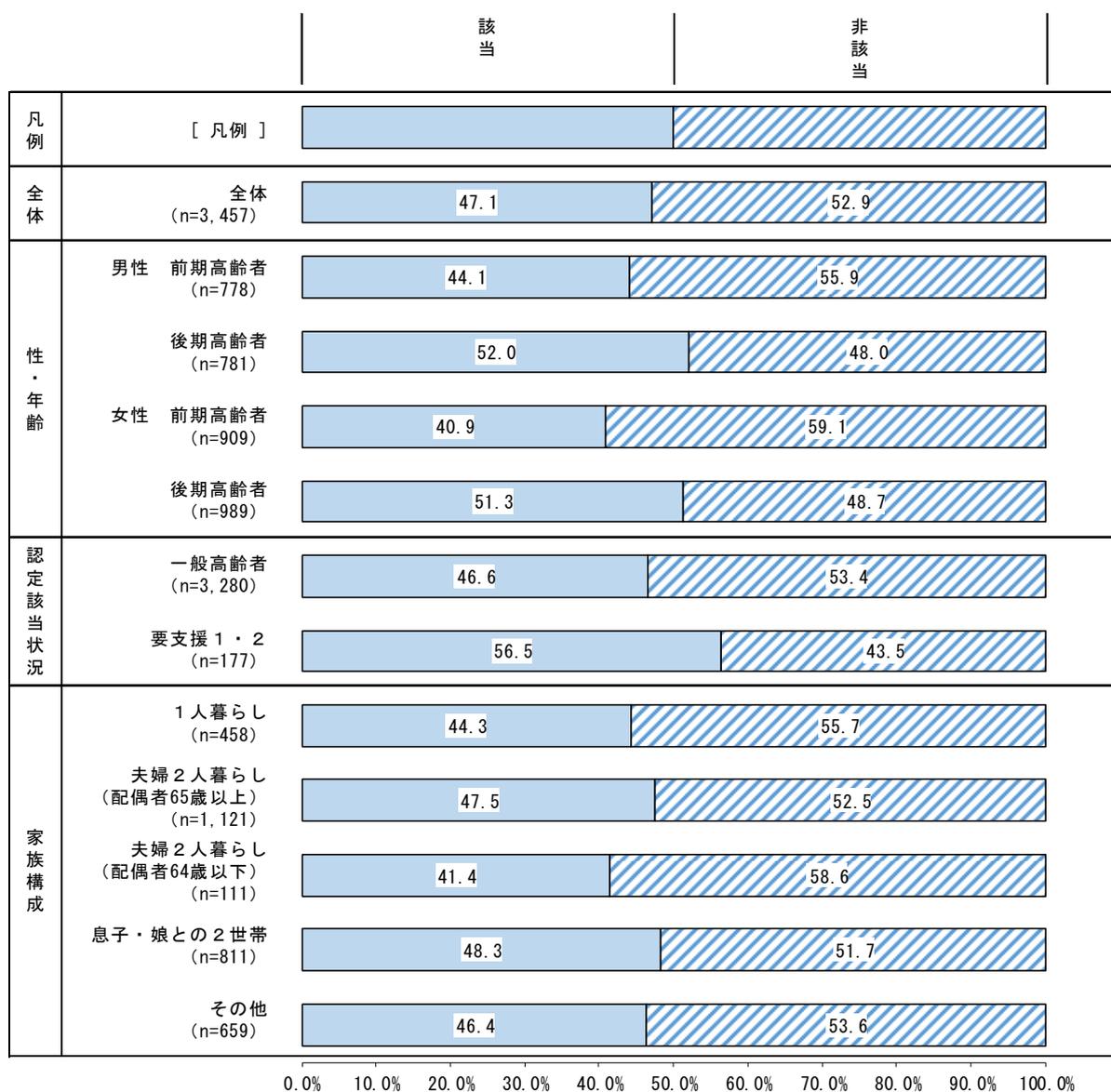
【認定該当状況】

- 「該当」は要支援 1・2 が 56.5%と一般高齢者の 46.6%に比べて多くなっています。

【家族構成】

- 「非該当」は夫婦 2 人暮らし（配偶者 64 歳以下）が 58.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【認知機能の低下リスク】



(2) IADLの状況

- 問4.2 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。（1つだけ○）

【全体】

- バスや電車を使った1人での外出について、「できるし、している」が75.7%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.6%、「できない」が10.5%となっています。

- 問4.3 自分で食品・日用品の買物をしていますか。（1つだけ○）

【全体】

- 食品・日用品の買物について、「できるし、している」が78.9%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が12.5%、「できない」が6.7%となっています。

- 問4.4 自分で食事の用意をしていますか。（1つだけ○）

【全体】

- 食事の用意について、「できるし、している」が67.1%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が21.7%、「できない」が9.6%となっています。

- 問4.5 自分で請求書の支払いをしていますか。（1つだけ○）

【全体】

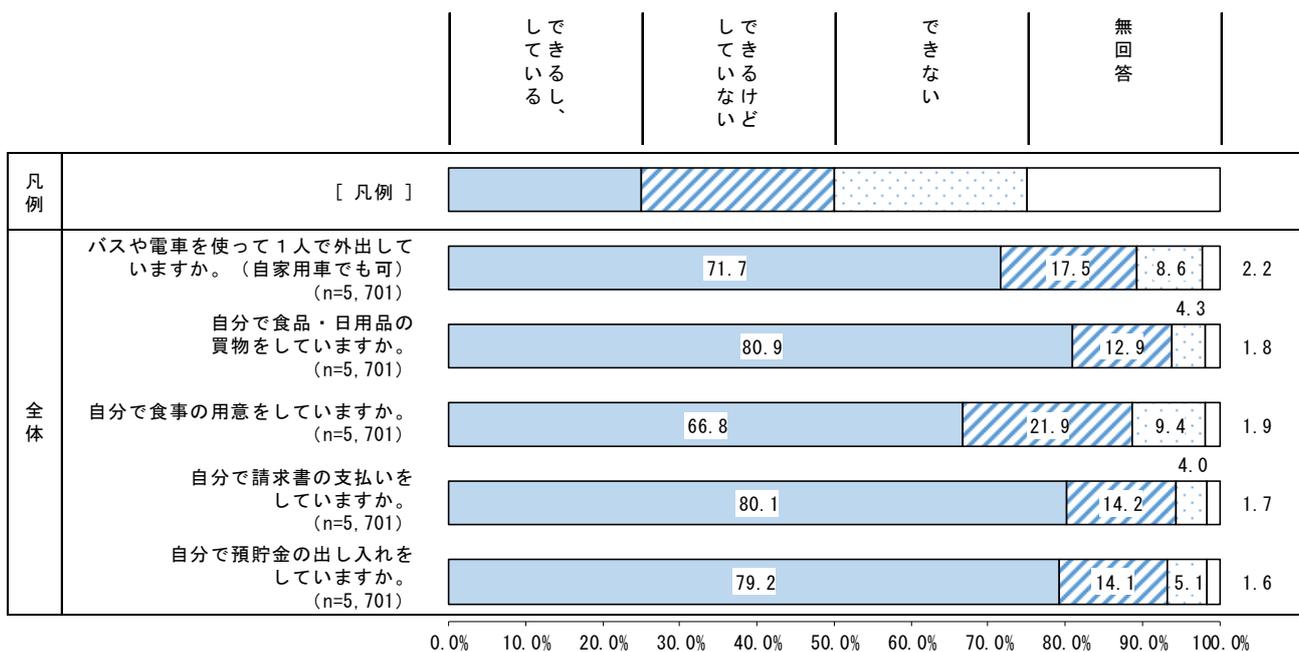
- 請求書の支払いについて、「できるし、している」が80.9%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が12.4%、「できない」が5.0%となっています。

- 問4.6 自分で預貯金の出し入れをしていますか。（1つだけ○）

【全体】

- 預貯金の出し入れについて、「できるし、している」が80.7%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が12.1%、「できない」が5.7%となっています。

【手段的自立度（IADL）の状況】



◆ 手段的自立度（IADL）

● 手段的自立度（IADL）の判定方法

以下の設問を5点満点で判定し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価。

設問	選択肢	配点
バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で食品・日用品の買物をしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で食事の用意をしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で請求書の支払いをしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で預貯金の出し入れをしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点

※手段的自立度（IADL）とは、『手段的日常生活動作』と訳され、日常生活を送る上で必要な動作のうち、買い物や洗濯、掃除等の家事全般や、金銭管理や服薬管理、外出して乗り物に乗ることなどを指します。

【全体】

- IADL について、「5点（高い）」が 80.2%で最も多く、次いで「4点（やや低い）」が 8.5%、「3点以下（低い）」が 8.2%となっています。

【性・年齢】

- 「5点（高い）」は女性 前期高齢者が 93.0%と他の区分に比べて多くなっています。

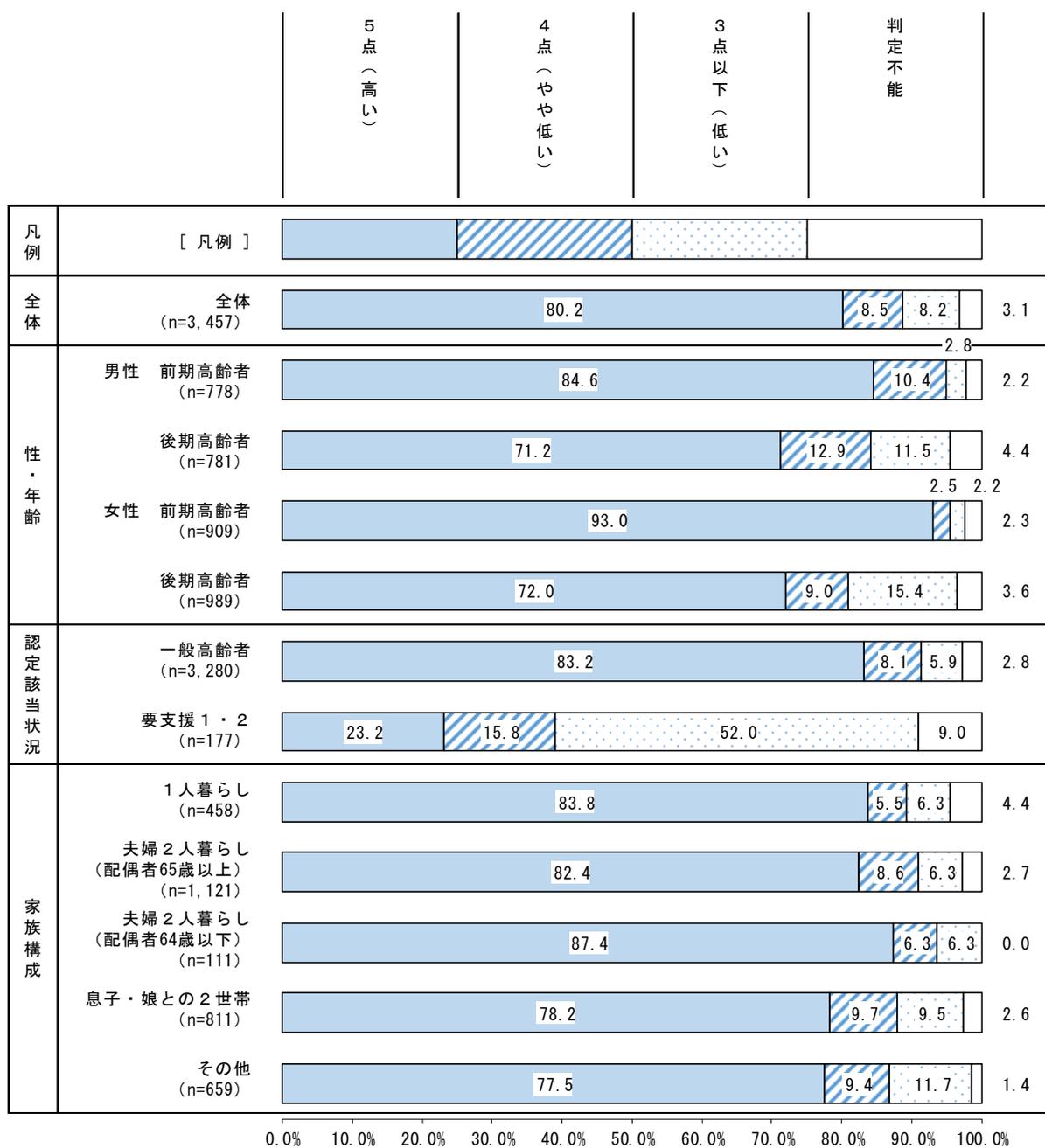
【認定該当状況】

- 「3点以下（低い）」は要支援 1・2 が 52.0%と一般高齢者の 5.9%に比べて多くなっています。

【家族構成】

- 「5点（高い）」は夫婦 2人暮らし（配偶者 64歳以下）が 87.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【手段的自立度 (IADL)】

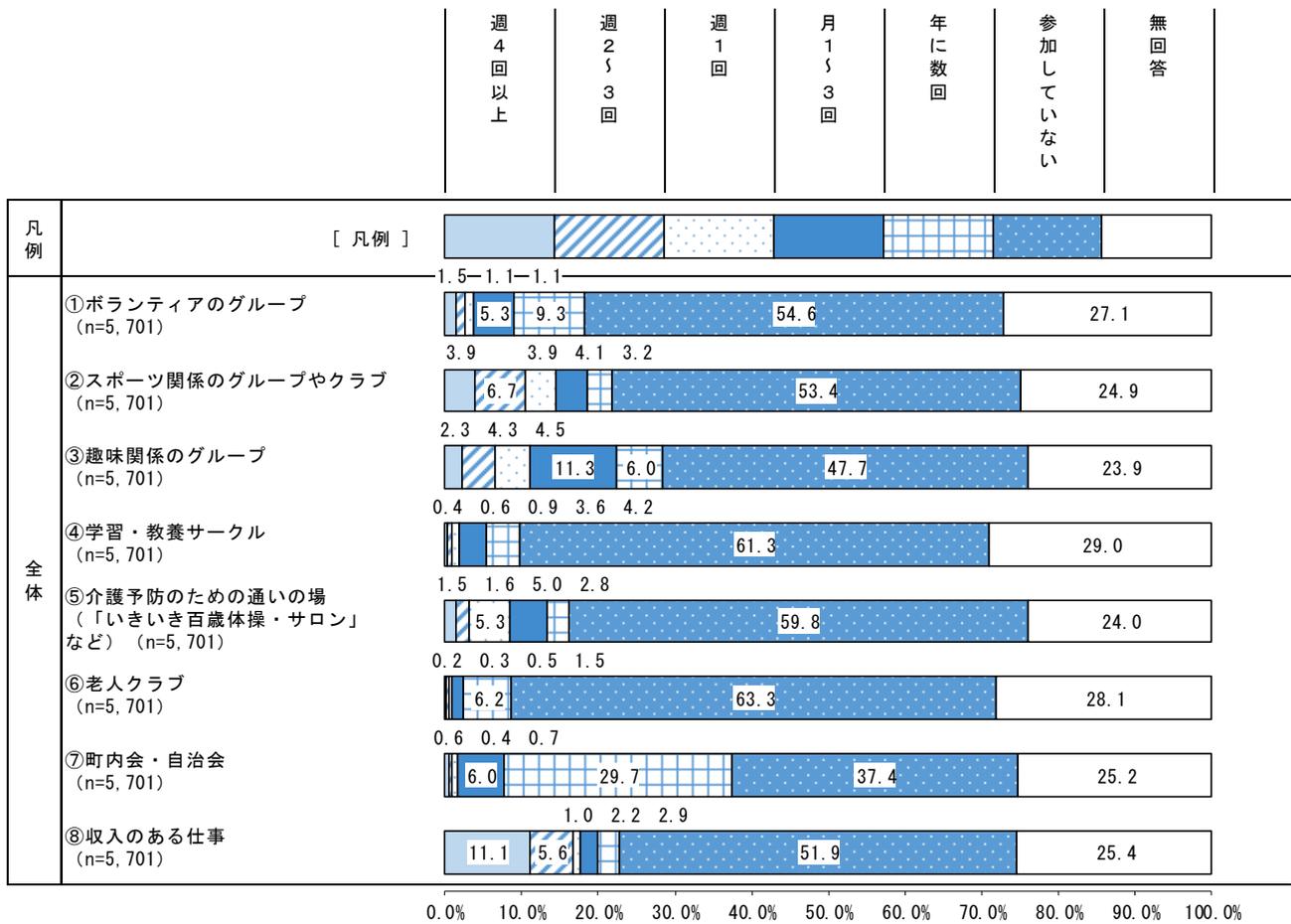


7. 地域での活動について

(1) 地域活動への参加の状況

- 問5.1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
 (①～⑧それぞれ1つ)

【会・グループ等への参加頻度（全体）】



①ボランティアのグループ

【全体】

- ①ボランティアのグループへの参加頻度について、「年に数回」が9.4%で最も多く、次いで「月1～3回」が4.1%、「週1回」が1.1%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は2.6%となっています。

【①ボランティアのグループへの参加頻度】

		母数 (n)	①ボランティアのグループへの参加頻度						参加週1回以上 している人”	
			週4回以上	週2 5 3 回	週1 回	月1 5 3 回	年に数回	参加していない		無回答
全体		3457	0.7	0.8	1.1	4.1	9.4	65.9	17.9	2.6
性・年齢	男性 前期高齢者	778	0.9	1.3	0.9	5.8	12.9	68.4	9.9	3.1
	後期高齢者	781	0.8	0.4	0.9	2.9	11.8	63.1	20.1	2.1
	女性 前期高齢者	909	0.7	0.9	1.9	5.7	8.6	69.7	12.5	3.5
	後期高齢者	989	0.5	0.7	0.8	2.3	5.7	62.7	27.3	2.0
認定該当 状況	一般高齢者	3280	0.7	0.8	1.2	4.3	9.7	65.7	17.6	2.7
	要支援1・2	177	-	0.6	-	1.1	4.5	70.6	23.2	0.6

単位：%

②スポーツ関係のグループやクラブ

【全体】

- ②スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度について、「週2～3回」が7.2%で最も多く、次いで「月1～3回」が3.9%、「年に数回」が3.4%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は12.3%となっています。

【②スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度】

		母数 (n)	②スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度						参加週1回以上 している人”	
			週4回以上	週2 5 3 回	週1 回	月1 5 3 回	年に数回	参加していない		無回答
全体		3457	1.9	7.2	3.2	3.9	3.4	63.8	16.5	12.3
性・年齢	男性 前期高齢者	778	2.4	6.4	3.2	5.8	5.5	67.7	8.9	12.0
	後期高齢者	781	2.0	5.8	3.1	4.9	4.6	62.2	17.4	10.9
	女性 前期高齢者	909	2.0	11.1	3.7	3.6	2.4	65.5	11.7	16.8
	後期高齢者	989	1.3	5.5	2.7	2.0	1.6	60.6	26.3	9.5
認定該当 状況	一般高齢者	3280	2.0	7.6	3.3	4.1	3.5	63.4	16.1	12.9
	要支援1・2	177	-	0.6	0.6	0.6	0.6	72.9	24.9	▼ 1.2

単位：%

③趣味関係のグループ

【全体】

- ③趣味関係のグループへの参加頻度について、「月1～3回」が7.2%で最も多く、次いで「年に数回」が6.9%、「週1回」が2.7%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は6.0%となっています。

【③趣味関係のグループへの参加頻度】

		母数 (n)	③趣味関係のグループへの参加頻度						無回答	単位：％ 参加週1回以上 している人
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない		
全体		3457	0.8	2.5	2.7	7.2	6.9	63.1	16.8	6.0
性・年齢	男性 前期高齢者	778	1.3	2.2	1.8	5.8	9.1	70.6	9.3	5.3
	後期高齢者	781	0.5	2.8	2.4	5.9	7.4	61.3	19.6	5.7
	女性 前期高齢者	909	0.4	2.6	3.5	10.1	7.9	63.6	11.8	6.5
	後期高齢者	989	1.0	2.3	2.8	6.6	3.8	58.3	25.1	6.1
認定該当状況	一般高齢者	3280	0.9	2.6	2.8	7.5	7.3	62.6	16.3	6.3
	要支援1・2	177	-	-	0.6	0.6	0.6	72.9	25.4	0.6

④学習・教養サークル

【全体】

- ④学習・教養サークルへの参加頻度について、「年に数回」が3.9%で最も多く、次いで「月1～3回」が2.7%、「週1回」が1.2%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は1.8%となっています。

【④学習・教養サークルへの参加頻度】

		母数 (n)	④学習・教養サークルへの参加頻度						無回答	単位：％ 参加週1回以上 している人
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない		
全体		3457	0.2	0.4	1.2	2.7	3.9	72.0	19.6	1.8
性・年齢	男性 前期高齢者	778	0.1	0.5	0.6	1.4	3.9	82.6	10.8	1.2
	後期高齢者	781	0.1	0.3	1.4	2.4	3.3	70.8	21.6	1.8
	女性 前期高齢者	909	0.1	0.3	1.8	4.4	5.4	73.3	14.7	2.2
	後期高齢者	989	0.5	0.5	0.9	2.3	2.9	63.5	29.3	1.9
認定該当状況	一般高齢者	3280	0.2	0.4	1.2	2.8	4.1	71.9	19.3	1.8
	要支援1・2	177	-	-	-	-	0.6	74.0	25.4	-

⑤介護予防のための通いの場 ※水中教室、3B体操教室、地域のサロンなど

【全体】

- ⑤介護予防のための通いの場について、「週2～3回」が3.0%で最も多く、次いで「年に数回」が2.9%、「月1～3回」が2.8%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は6.0%となっています。

【⑤介護予防のための通いの場】

		母数 (n)	⑤介護予防のための通いの場							単位：％ 参 加 し て い る 上 人
			週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	
全体		3457	0.9	3.0	2.1	2.8	2.9	71.4	16.9	6.0
性・年齢	男性 前期高齢者	778	0.1	0.8	0.3	0.8	1.2	86.6	10.3	1.2
	後期高齢者	781	1.2	2.6	1.5	1.2	1.9	70.8	20.9	5.3
	女性 前期高齢者	909	0.6	3.6	2.3	4.7	4.1	72.7	12.0	6.5
	後期高齢者	989	1.5	4.3	3.7	4.0	3.9	58.8	23.6	9.5
認定該当 状況	一般高齢者	3280	0.9	2.8	1.8	3.0	2.9	71.9	16.8	5.5
	要支援1・2	177	0.6	5.6	6.8	0.6	3.4	63.3	19.8	13.0

⑥老人クラブ

【全体】

- ⑥老人クラブへの参加頻度について、「年に数回」が8.4%で最も多く、次いで「月1～3回」が2.6%、「週4回以上」「週2～3回」が0.2%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は0.5%となっています。

【⑥老人クラブへの参加頻度】

		母数 (n)	⑥老人クラブへの参加頻度							単位：％ 参 加 し て い る 上 人
			週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	
全体		3457	0.2	0.2	0.1	2.6	8.4	71.0	17.4	0.5
性・年齢	男性 前期高齢者	778	0.3	0.1	0.1	1.4	5.9	81.6	10.5	0.5
	後期高齢者	781	-	0.5	0.3	3.5	8.1	67.7	20.0	0.8
	女性 前期高齢者	909	-	0.1	-	2.3	6.7	77.3	13.5	0.1
	後期高齢者	989	0.4	0.2	0.2	3.1	12.1	59.5	24.5	0.8
認定該当 状況	一般高齢者	3280	0.2	0.2	0.2	2.7	8.7	71.0	17.0	0.6
	要支援1・2	177	-	-	-	1.7	2.8	70.6	24.9	-

⑦町内会・自治会

【全体】

- ⑦町内会・自治会への参加頻度について、「年に数回」が 35.5%で最も多く、次いで「月 1～3 回」が 6.0%、「週 1 回」が 0.5%となっています。「週 4 回以上」「週 2～3 回」「週 1 回」を合わせた“週 1 回以上参加している人”は 1.2%となっています。

【⑦町内会・自治会への参加頻度】

		母数 (n)	⑦町内会・自治会への参加頻度						無回答	単位：％ 参 加 週 1 回 以 上 人
			週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い		
全体		3457	0.3	0.4	0.5	6.0	35.5	40.7	16.6	1.2
性・年齢	男性 前期高齢者	778	0.6	0.8	0.9	15.2	△ 50.1	24.6	7.8	2.3
	後期高齢者	781	0.5	0.5	0.6	5.4	36.6	37.8	18.6	1.6
	女性 前期高齢者	909	0.1	0.1	0.2	2.9	38.4	47.0	11.3	0.4
	後期高齢者	989	0.2	0.3	0.2	2.2	▼ 20.3	50.1	26.7	0.7
認定該当 状況	一般高齢者	3280	0.3	0.4	0.5	6.3	36.9	39.5	16.1	1.2
	要支援 1・2	177	0.6	-	-	0.6	▼ 9.6	64.4	24.9	0.6

⑧収入のある仕事

【全体】

- ⑧収入のある仕事への参加頻度について、「週 4 回以上」が 15.6%で最も多く、次いで「週 2～3 回」が 6.9%、「年に数回」が 6.4%となっています。「週 4 回以上」「週 2～3 回」「週 1 回」を合わせた“週 1 回以上参加している人”は 24.3%となっています。

【⑧収入のある仕事への参加頻度】

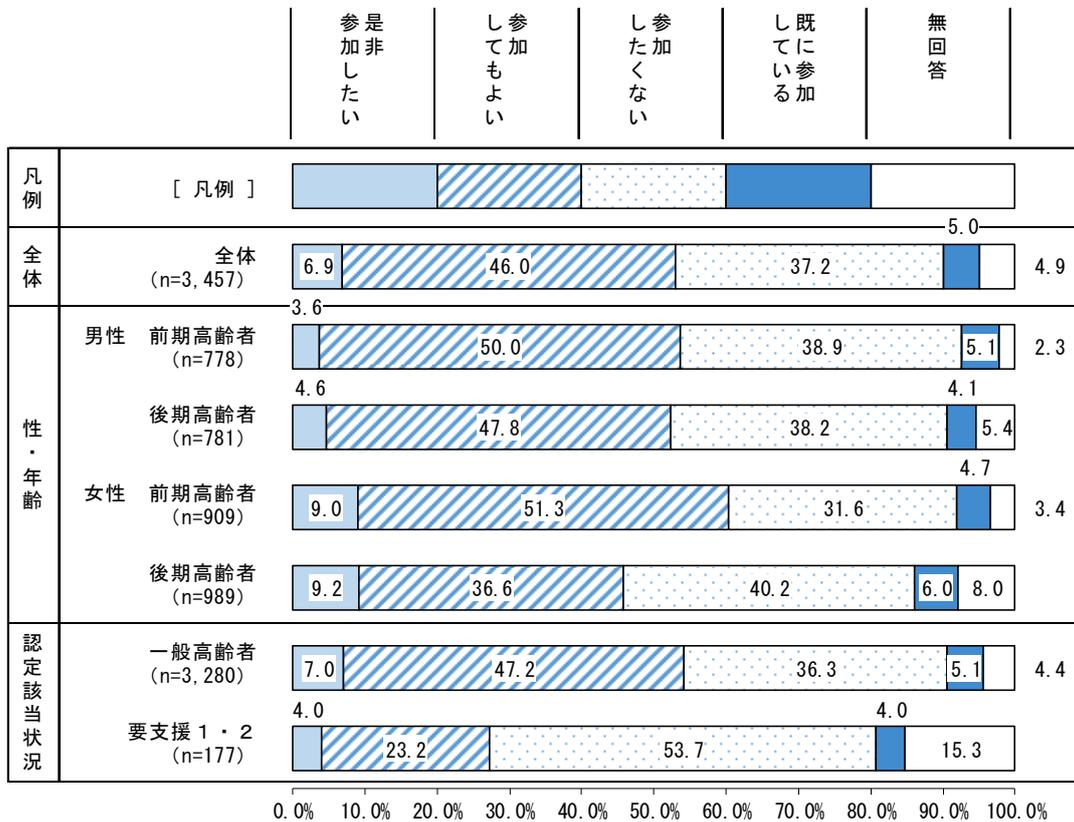
		母数 (n)	⑧収入のある仕事への参加頻度						無回答	単位：％ 参 加 週 1 回 以 上 人
			週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い		
全体		3457	15.6	6.9	1.8	2.7	6.4	51.2	15.5	24.3
性・年齢	男性 前期高齢者	778	△ 28.0	9.9	3.0	4.2	10.3	37.8	6.8	△ 40.9
	後期高齢者	781	10.1	5.8	1.4	3.2	5.9	55.1	18.6	17.3
	女性 前期高齢者	909	22.1	8.9	2.3	2.6	6.3	48.5	9.2	33.3
	後期高齢者	989	▼ 4.1	3.6	0.6	1.2	3.7	61.1	25.6	▼ 8.3
認定該当 状況	一般高齢者	3280	16.3	7.3	1.9	2.9	6.7	50.1	14.9	25.5
	要支援 1・2	177	▼ 1.7	0.6	-	-	0.6	71.2	26.0	▼ 2.3

(2) 地域活動づくりへの参加意向

- 問5.2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ○)

<p>【全体】</p> <p>○ 地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「参加してもよい」が46.0%で最も多く、次いで「参加したくない」が37.2%、「是非参加したい」が6.9%となっています。「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある方”は52.9%となっています。</p> <p>【性・年齢】</p> <p>○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「是非参加したい」が多くなっています。</p> <p>【認定該当状況】</p> <p>○ 「参加したくない」は要支援1・2が53.7%と一般高齢者の36.3%に比べて多くなっています。</p>

【地域づくり活動に対する参加者としての参加意向】



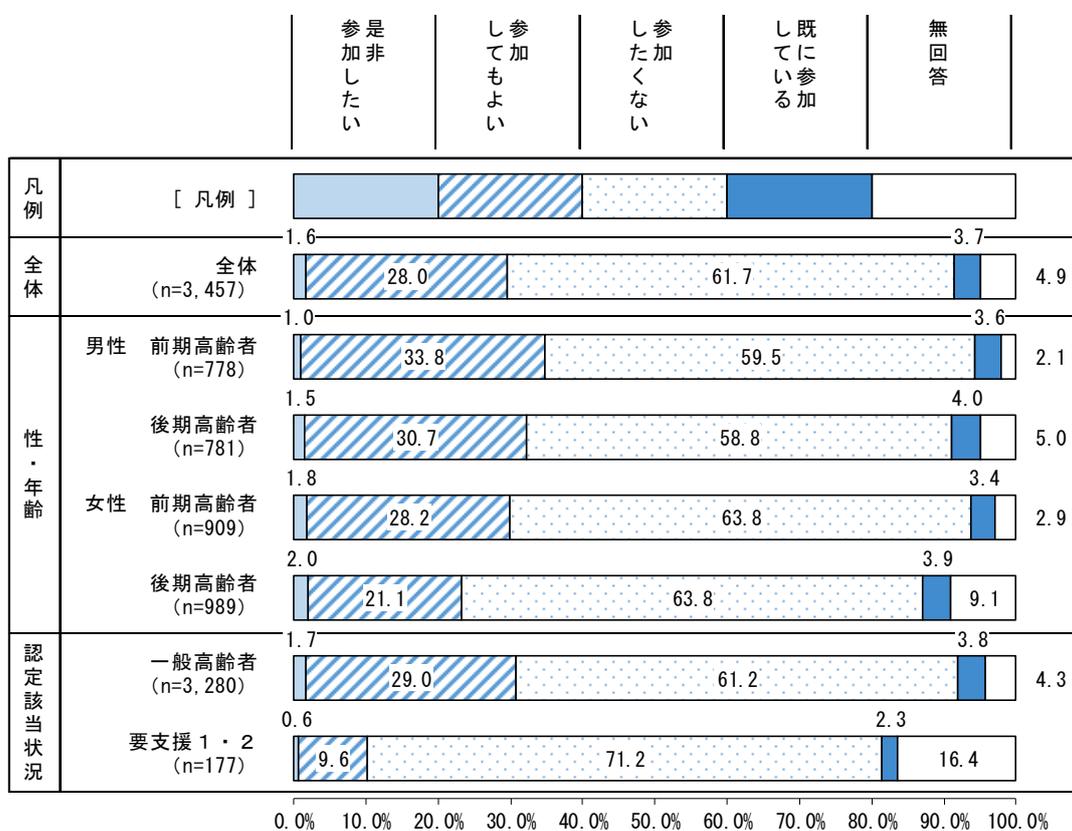
- 問5.3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つだけ○）

【全体】
 ○ 地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向について、「参加したくない」が61.7%で最も多く、次いで「参加してもよい」が28.0%、「既に参加している」が3.7%となっています。「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある方”は29.6%となっています。

【性・年齢】
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「参加してもよい」が多くなっています。

【認定該当状況】
 ○ 「参加したくない」は要支援1・2が71.2%と一般高齢者の61.2%に比べて多くなっています。

【地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向】



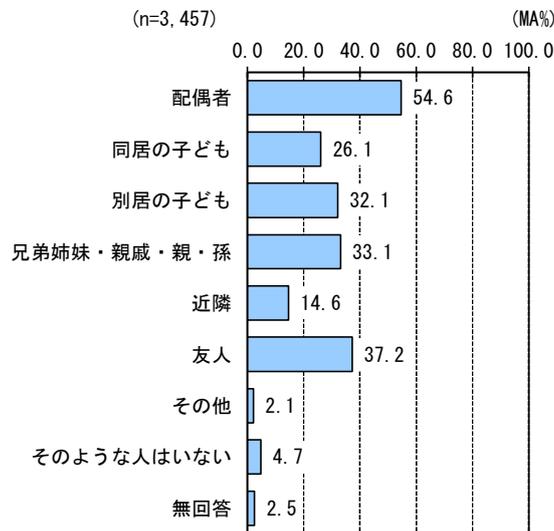
8. たすけあいについて

(1) 周囲との相互の関係

●問6.1 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも○）

【全体】
○ あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が 54.6%で最も多く、次いで「友人」が 37.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 33.1%となっています。
【性・年齢】
○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「配偶者」が多くなっています。
○ 「友人」は女性 前期高齢者が 51.6%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】
○ 「配偶者」は一般高齢者が 55.9%と要支援1・2の 31.6%に比べて多くなっています。

【あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)】



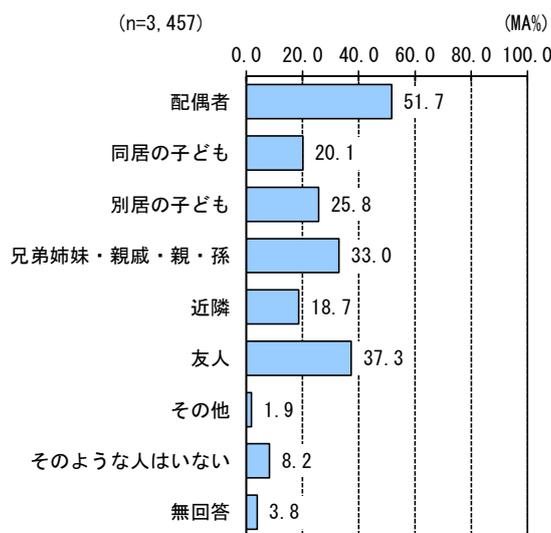
単位：%

	母数 (n)	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親戚・姉妹・親・孫	近隣	友人	その他	その人はいない	無回答	
全体	3457	54.6	26.1	32.1	33.1	14.6	37.2	2.1	4.7	2.5	
性・年齢	男性 前期高齢者	778	△ 70.4	16.2	▼ 18.8	24.2	9.5	32.9	2.3	6.8	2.2
	後期高齢者	781	△ 66.3	21.4	26.9	24.6	9.1	▼ 23.9	1.3	6.9	3.2
	女性 前期高齢者	909	55.8	28.6	40.3	41.3	17.6	△ 51.6	2.2	2.8	1.8
	後期高齢者	989	▼ 31.9	35.5	39.2	39.4	20.0	37.9	2.4	3.0	3.0
認定該当状況	一般高齢者	3280	55.9	25.8	32.0	33.0	14.6	38.0	1.9	4.5	2.3
	要支援1・2	177	▼ 31.6	33.3	35.0	35.0	13.6	▼ 22.6	5.6	7.9	7.3

●問6.2 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも○）

- 【全体】**
 ○ 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」が 51.7%で最も多く、次いで「友人」が 37.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 33.0%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「配偶者」が多くなっています。
 ○ 「友人」は女性 前期高齢者が 51.7%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【認定該当状況】**
 ○ 「配偶者」は一般高齢者が 52.9%と要支援1・2の 29.9%に比べて多くなっています。

【反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人 (MA)】



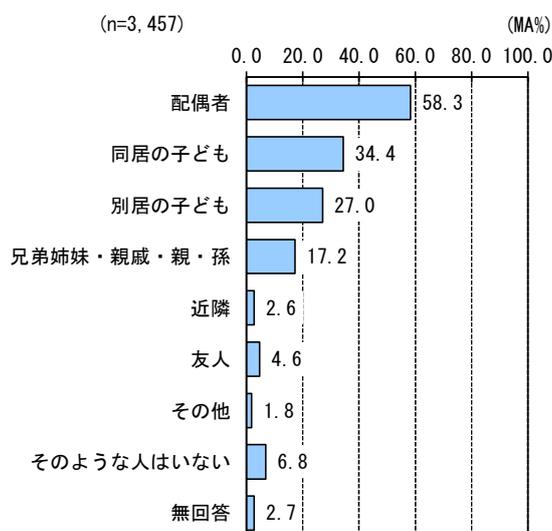
単位：%

		母数 (n)	反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人 (MA)								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親戚・兄弟姉妹・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		3457	51.7	20.1	25.8	33.0	18.7	37.3	1.9	8.2	3.8
性・年齢	男性 前期高齢者	778	△ 69.5	16.7	20.7	26.5	13.9	30.8	2.2	8.2	3.1
	後期高齢者	781	△ 63.1	16.8	21.8	25.2	13.3	▼ 23.9	1.4	11.3	4.5
	女性 前期高齢者	909	51.7	23.7	35.3	41.4	23.2	△ 51.7	2.6	4.0	2.6
	後期高齢者	989	▼ 28.6	22.2	24.2	36.7	22.8	39.7	1.3	9.6	5.1
認定該当状況	一般高齢者	3280	52.9	20.1	26.2	33.4	19.0	38.2	2.0	7.7	3.6
	要支援1・2	177	▼ 29.9	21.5	18.1	27.1	14.1	▼ 20.9	0.6	17.5	8.5

●問6.3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
(いくつでも○)

- 【全体】**
 ○ あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が 58.3%で最も多く、次いで「同居の子ども」が 34.4%、「別居の子ども」が 27.0%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「配偶者」が多くなっています。
 ○ 「同居の子ども」は女性 後期高齢者が 46.1%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【認定該当状況】**
 ○ 「配偶者」は一般高齢者が 59.9%と要支援1・2の 28.2%に比べて多くなっています。

【あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(MA)】



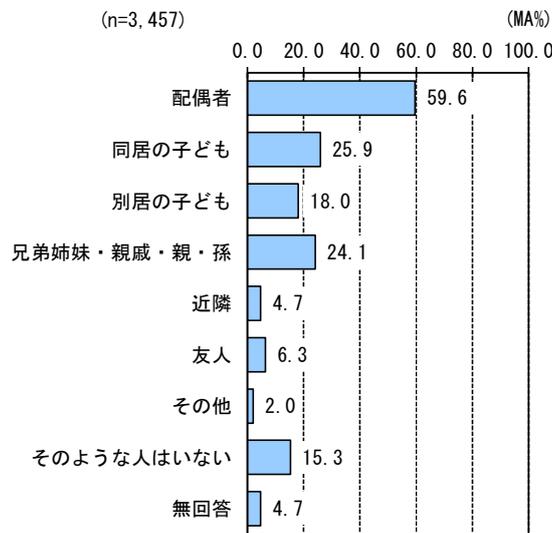
単位：%

		母数 (n)	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(MA)								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	その人はいない	無回答
全体		3457	58.3	34.4	27.0	17.2	2.6	4.6	1.8	6.8	2.7
性・年齢	男性 前期高齢者	778	△ 76.0	▼ 21.1	▼ 16.2	15.2	0.9	2.7	0.9	7.2	2.4
	後期高齢者	781	△ 71.1	30.5	26.4	12.8	1.7	3.1	1.4	5.9	2.7
	女性 前期高齢者	909	60.2	36.5	28.2	18.6	3.4	6.8	1.8	6.5	2.5
	後期高齢者	989	▼ 32.5	△ 46.1	34.9	21.0	3.9	5.4	2.9	7.6	3.2
認定該当状況	一般高齢者	3280	59.9	33.8	26.8	17.1	2.7	4.7	1.7	6.6	2.6
	要支援1・2	177	▼ 28.2	△ 45.2	30.5	18.6	0.6	2.8	4.0	11.3	6.2

●問6.4 反対に、看病や世話をしあける人 (いくつでも○)

- 【全体】**
 ○ 反対に、看病や世話をしあける人について、「配偶者」が 59.6%で最も多く、次いで「同居の子ども」が 25.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 24.1%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 「別居の子ども」は女性 前期高齢者が 27.4%と他の区分に比べて多くなっています。
 ○ 「兄弟姉妹・親戚・親・孫」は女性 前期高齢者が 36.4%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【認定該当状況】**
 ○ 「配偶者」は一般高齢者が 61.5%と要支援 1・2 の 24.9%に比べて多くなっています。
 ○ 「そのような人はいない」は要支援 1・2 が 38.4%と一般高齢者の 14.1%に比べて多くなっています。

【反対に、看病や世話をしあける人(MA)】



単位：%

		母数 (n)	反対に、看病や世話をしあける人(MA)								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		3457	59.6	25.9	18.0	24.1	4.7	6.3	2.0	15.3	4.7
性・年齢	男性 前期高齢者	778	△ 71.2	20.1	15.3	22.2	1.8	2.8	1.3	13.4	3.2
	後期高齢者	781	67.1	21.1	14.2	▼ 14.1	3.2	3.6	1.5	16.0	5.6
	女性 前期高齢者	909	67.0	33.0	27.4	△ 36.4	6.7	11.3	2.0	7.6	3.2
	後期高齢者	989	▼ 37.9	27.6	14.5	22.1	6.5	6.5	2.8	23.5	6.6
認定該当状況	一般高齢者	3280	61.5	26.2	18.5	25.0	4.8	6.5	1.7	14.1	4.3
	要支援 1・2	177	▼ 24.9	19.2	9.0	▼ 7.9	2.8	1.7	7.3	△ 38.4	13.0

◆たすけあいについて

●たすけあいの合計点

以下の設問に「配偶者」「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「近隣」「友人」「その他」のいずれかと回答した場合を1点として、4点満点で評価。

設問	配点
あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人	1点
反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人	1点
あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	1点
反対に、看病や世話をしてあげる人	1点

【全体】

- たすけあいの合計点について、「4点」が74.0%で最も多く、次いで「3点」が14.3%、「2点」が6.3%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「4点」が多くなっています。

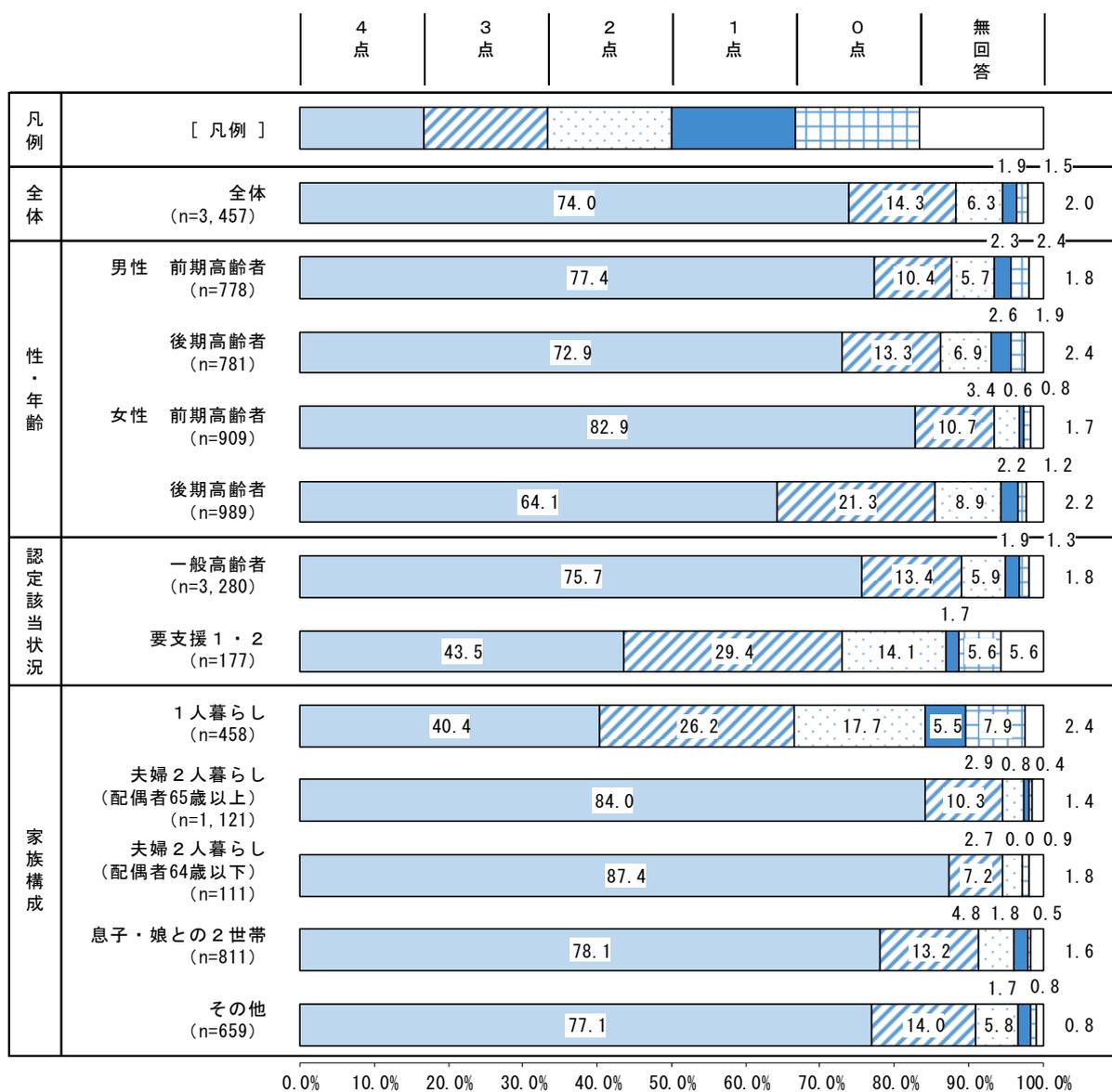
【認定該当状況】

- 「4点」は一般高齢者が75.7%と要支援1・2の43.5%に比べて多くなっています。

【家族構成】

- 「4点」は1人暮らしが40.4%と他の区分に比べて少なくなっています。

【たすけあいの合計点】



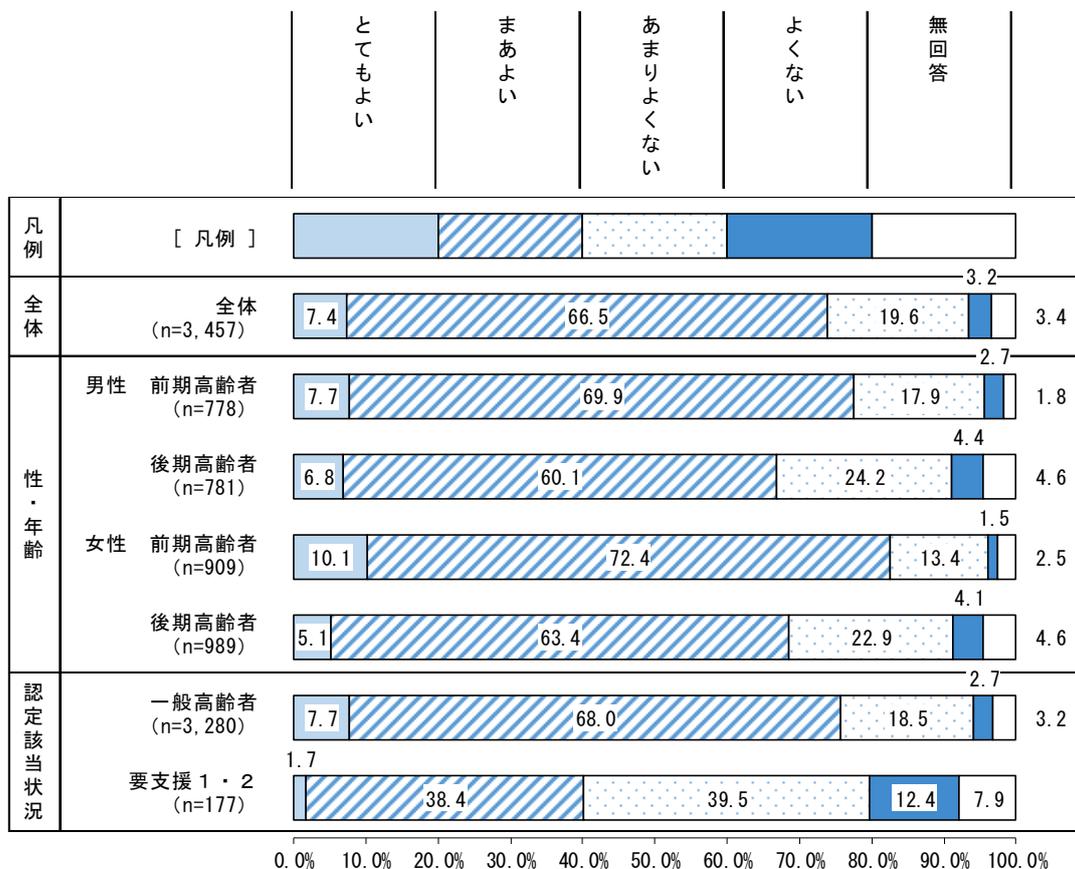
9. 健康について

(1) 主観的健康感

●問7.1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つだけ○)

【全体】
○ 主観的健康感について、「まあよい」が 66.5%で最も多く、次いで「あまりよくない」が 19.6%、「とてもよい」が 7.4%となっています。「とてもよい」「まあよい」を合わせた“よい方”は 73.9%となっています。「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない方”は 22.8%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「あまりよくない」が多くなっています。
【認定該当状況】
○ 一般高齢者では、「まあよい」が 68.0%で最も多く、次いで「あまりよくない」が 18.5%、「とてもよい」が7.7%となっています。“よい方”は75.7%となっています。“よくない方”は 21.2%となっています。
○ 要支援1・2では、「あまりよくない」が 39.5%で最も多く、次いで「まあよい」が 38.4%、「よくない」が 12.4%となっています。“よい方”は 40.1%となっています。“よくない方”は 51.9%となっています。

【主観的健康感】

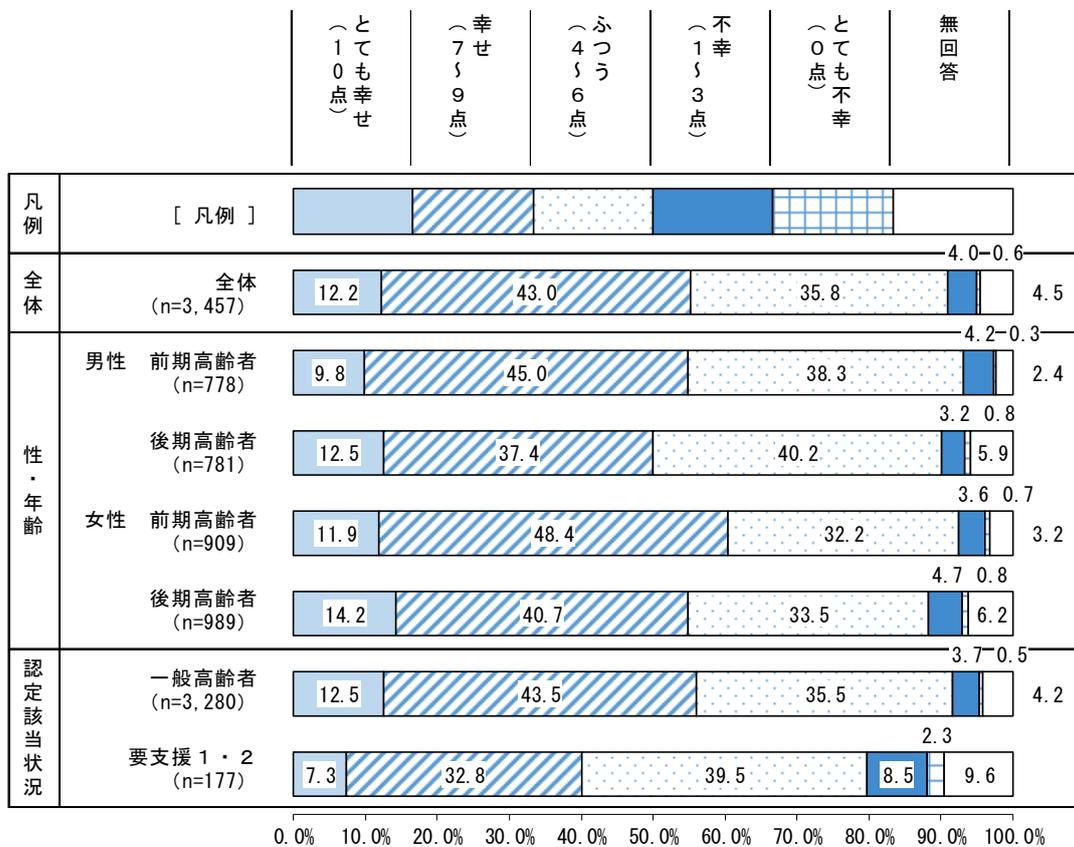


(2) 主観的幸福感

●問7.2 あなたは、現在どの程度幸せですか。(1つだけ○)

【全体】
○ 幸福感について、「幸せ（7～9点）」が43.0%で最も多く、次いで「ふつう（4～6点）」が35.8%、「とても幸せ（10点）」が12.2%となっています。「とても幸せ（10点）」「幸せ（7～9点）」を合わせた“幸せな方”は55.2%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「幸せ（7～9点）」が多くなっています。
【認定該当状況】
○ “幸せな方”は一般高齢者が57.0%、要支援1・2が40.1%となっています。

【主観的幸福感】



(3) こころの健康状態

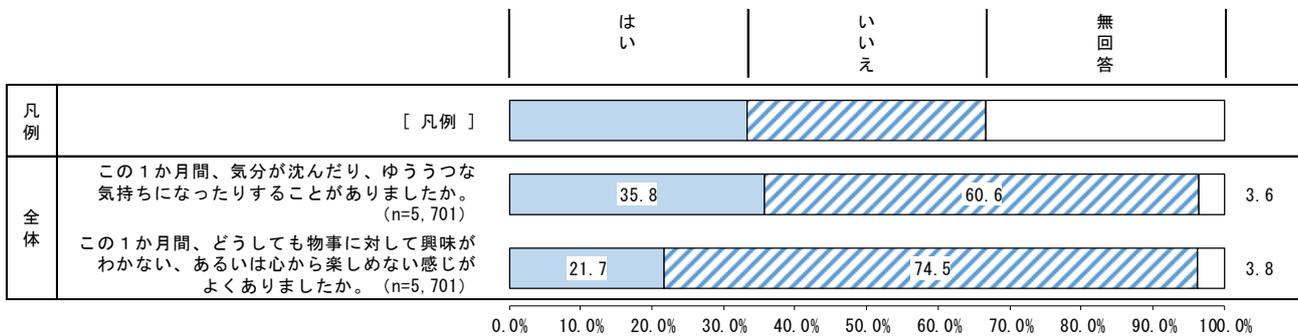
- 問7.3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つだけ○)

【全体】
 ○ 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについて、「はい」が37.7%、「いいえ」が58.0%となっています。

- 問7.4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つだけ○)

【全体】
 ○ どうしても物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったかについて、「はい」が25.4%、「いいえ」が70.3%となっています。

【こころの健康状態】



◆うつリスク

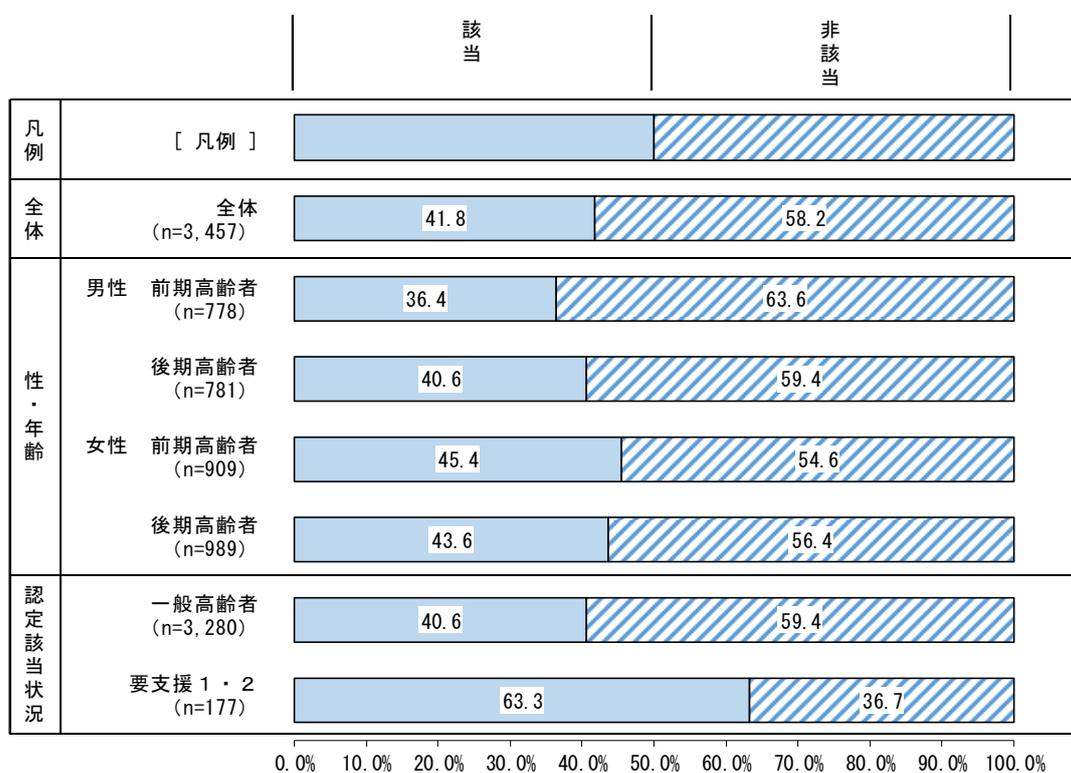
●うつリスクの判定

以下の設問に対して2問中いずれか1つでも該当する場合は、うつ傾向の高齢者となります。

設問	選択肢
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	はい
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	はい

<p>【全体】 ○ うつリスクについて、「該当」が41.8%、「非該当」が58.2%となっています。</p> <p>【性・年齢】 ○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「該当」が多くなっています。</p> <p>【認定該当状況】 ○ 「該当」は要支援1・2が63.3%と一般高齢者の40.6%に比べて多くなっています。</p>
--

【うつのリスク】



(2) 喫煙

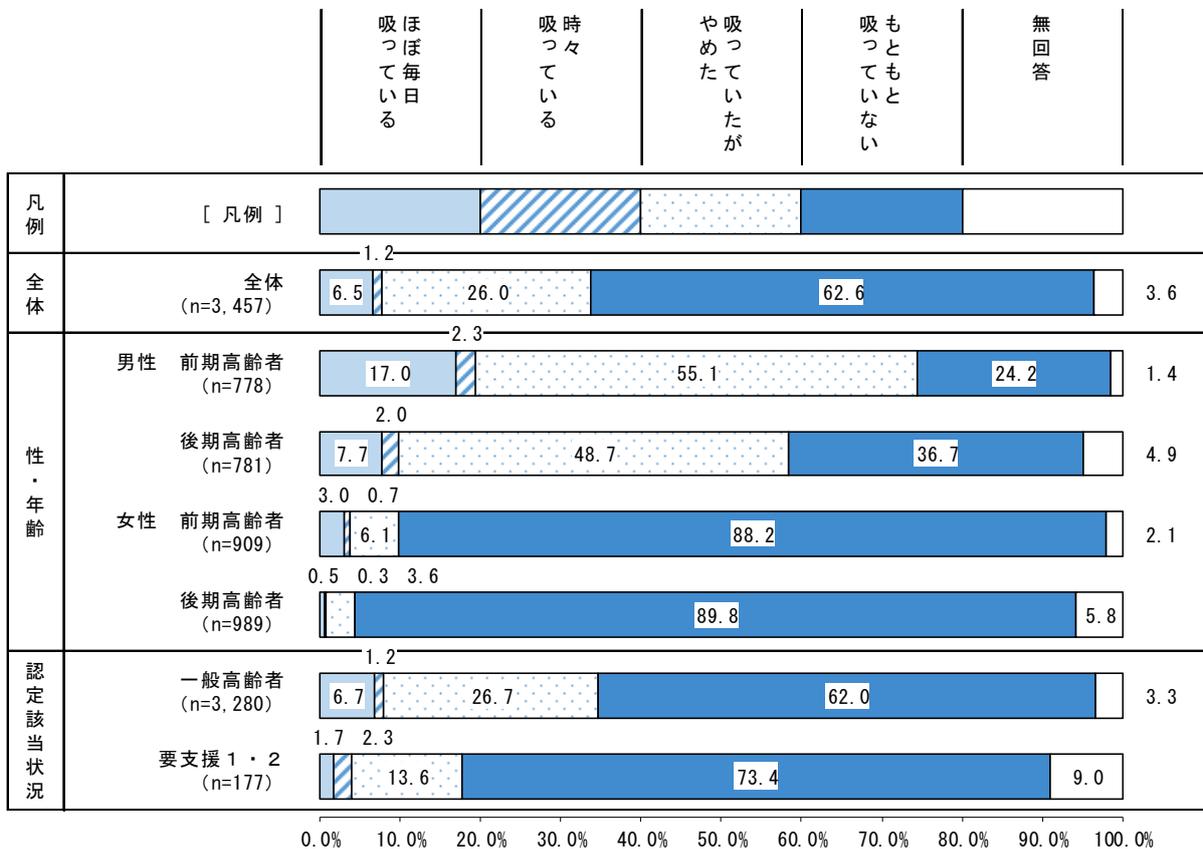
●問7.5 タバコは吸っていますか。(1つだけ○)

【全体】
 ○ 喫煙の状況について、「もともと吸っていない」が62.6%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が26.0%、「ほぼ毎日吸っている」が6.5%となっています。

【性・年齢】
 ○ 「ほぼ毎日吸っている」は男性 前期高齢者が17.0%と他の区分に比べて多くなっています。
 ○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「吸っていたがやめた」が多くなっています。

【認定該当状況】
 ○ 「吸っていたがやめた」は一般高齢者が26.7%と要支援1・2の13.6%に比べて多くなっています。
 ○ 「もともと吸っていない」は要支援1・2が73.4%と一般高齢者の62.0%に比べて多くなっています。

【喫煙の状況】

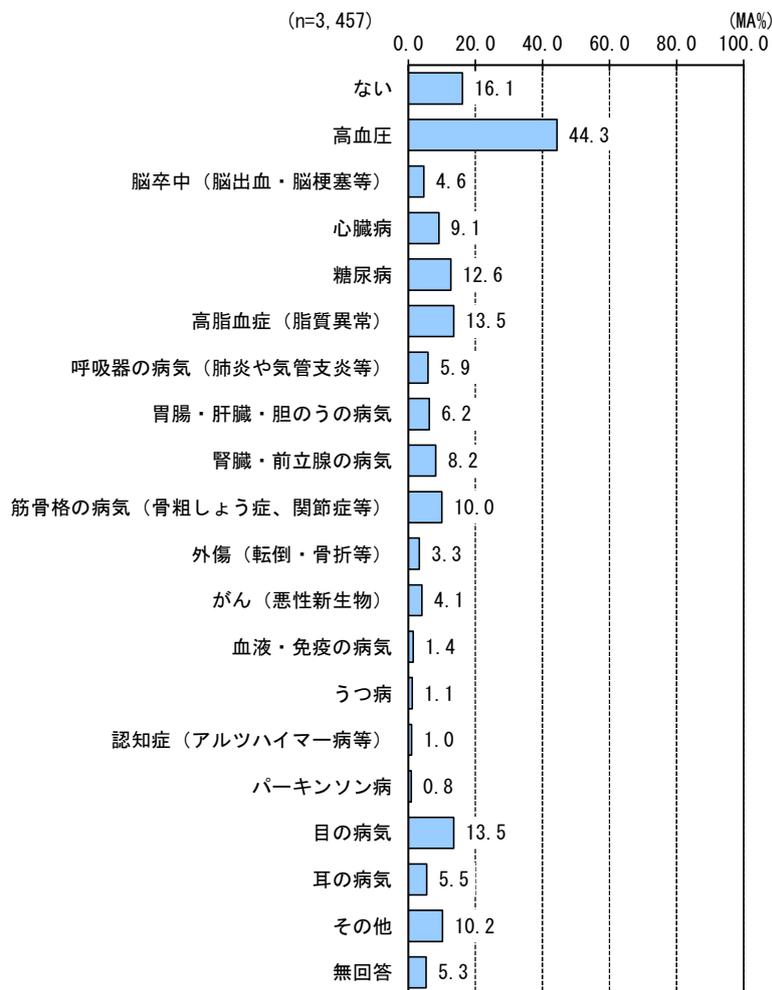


(3) 病気の状況

●問7.6 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも○)

- 【全体】**
 ○ 現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が 44.3%で最も多く、次いで「ない」が 16.1%、「高脂血症 (脂質異常)」「目の病気」が 13.5%となっています。
- 【性・年齢】**
 ○ 「腎臓・前立腺の病気」は男性 後期高齢者が 20.2%と他の区分に比べて多くなっています。
 ○ 「筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)」は女性 後期高齢者が 19.3%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 【認定該当状況】**
 ○ 「筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)」は要支援 1・2 が 22.6%と一般高齢者の 9.4%に比べて多くなっています。

【現在治療中、または後遺症のある病気 (MA)】



単位：％

		母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)									
			ない	高血圧	(脳卒中・ 脳出血・ 脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	(呼吸器の 肺炎や気管 支炎等)	胆胃腸の 病気の 病気	腎臓・前立 腺の病気	(骨粗しょう 症、 関節症等)
全体		3457	16.1	44.3	4.6	9.1	12.6	13.5	5.9	6.2	8.2	10.0
性・年齢	男性 前期高齢者	778	19.2	41.8	5.8	10.0	16.5	12.0	5.5	6.8	10.4	3.2
	後期高齢者	781	11.4	47.6	5.6	13.4	15.9	8.6	7.2	7.2	△ 20.2	5.8
	女性 前期高齢者	909	22.9	36.9	2.0	3.6	9.1	19.3	5.1	5.1	2.2	9.5
	後期高齢者	989	11.2	50.5	5.3	10.0	10.3	13.3	5.9	6.1	2.6	19.3
認定該当 状況	一般高齢者	3280	16.8	44.1	4.2	8.9	12.3	13.9	5.6	6.2	8.2	9.4
	要支援1・2	177	▼ 3.4	48.0	11.3	13.0	18.1	6.8	11.3	6.2	9.6	△ 22.6

単位：％

		母数 (n)	現在治療中、または後遺症のある病気(MA)									
			外傷 (転倒・ 骨折等)	がん (悪性新 生物)	血液・免 疫の病 気	うつ病	(認知症 ハルツ ハイマ ー病等)	パー キン ソン 病	目の 病気	耳の 病気	その他	無 回 答
全体		3457	3.3	4.1	1.4	1.1	1.0	0.8	13.5	5.5	10.2	5.3
性・年齢	男性 前期高齢者	778	1.8	3.3	0.9	0.6	0.1	0.1	12.5	5.0	10.5	5.3
	後期高齢者	781	3.7	5.8	1.4	1.2	2.0	0.9	14.0	7.0	10.6	4.2
	女性 前期高齢者	909	2.5	3.9	1.5	1.5	0.2	0.7	11.7	2.8	10.1	6.3
	後期高齢者	989	5.0	3.7	1.6	1.1	1.4	1.2	15.6	7.3	9.7	5.3
認定該当 状況	一般高齢者	3280	2.9	4.1	1.3	1.1	0.8	0.5	13.2	5.4	10.0	5.2
	要支援1・2	177	10.7	5.6	2.3	2.3	4.0	5.1	19.2	7.9	14.7	6.2

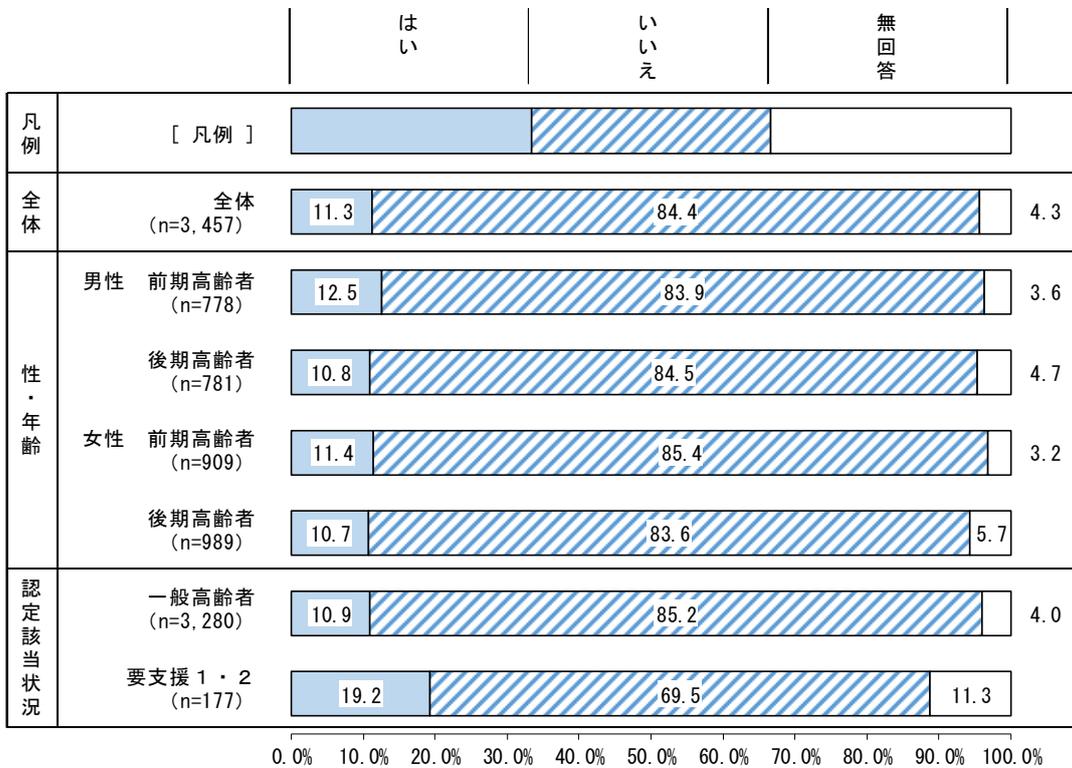
10. 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状の有無

●問8.1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つだけ○)

【全体】
○ 自身や家族の認知症の症状有無について、「はい」が11.3%、「いいえ」が84.4%となっています。
【性・年齢】
○ 「はい」は男性 前期高齢者が12.5%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】
○ 「いいえ」は一般高齢者が85.2%と要支援1・2の69.5%に比べて多くなっています。

【自身や家族の認知症の症状有無】



(2) 認知症の相談窓口の周知状況

●問8.2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ○)

【全体】
○ 認知症に関する相談窓口の周知状況について、「はい」が25.5%、「いいえ」が70.6%となっています。
【性・年齢】
○ 「はい」は女性 前期高齢者が31.5%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】
○ 「はい」は一般高齢者が25.8%と要支援1・2の19.8%に比べて多くなっています。

【認知症に関する相談窓口の周知状況】

